KENWOOD

デジタルオーディオプレーヤー

HD30GA9

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、クイックスタートマニュアル、プレーヤー取扱説明書および[Kenwood Media Application]取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
安全のため、必ずクイックスタートマニュアルの『安全上のご注意』をお読みのうえでご使用ください。

製品に関する一般的なご質問を弊社Webページにて公開しております。
お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。

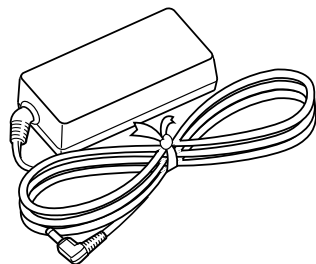
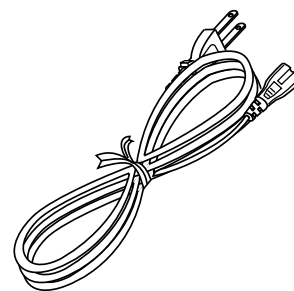
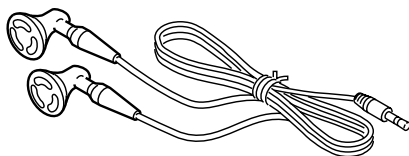
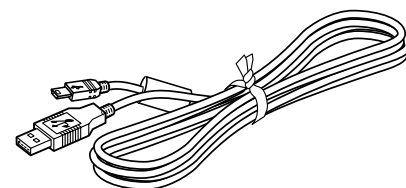
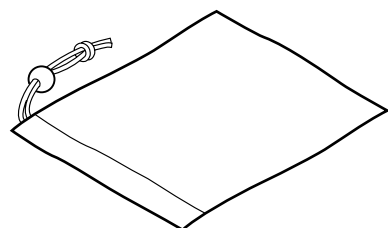
URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

はじめに

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

ACアダプター
（AC-050150A）

電源コード

ヘッドホン

USBケーブル

キャリングケース

CD-ROMは付属していません。
アプリケーションソフトウェアおよび取扱説明書などはプレーヤーの内蔵ハードディスクに格納されています。

プレーヤーの特長

- ■ 高音質Newクリアデジタルアンプ
- ■ 片手で簡単に行えるボタンレイアウト。2 Wayスピードサーチボタン搭載
- ■ 音質向上技術「Supreme（サプリーム）」搭載
- ■ 夜でも操作しやすいキーイルミネーション
- ■ 音楽配信DRM対応（Windows Media Technology）
- ■ 対応再生フォーマット：MP3、WMA（DRM対応）、WAV、KLS（Kenwood Lossless）
- ■ ジャケット画像が見られる 「2.2インチQVGAカラー液晶」搭載
- ■ Windows XP／2000対応PCアプリケーション

商標について

- Supreme（サプリーム）は、株式会社ケンウッドの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Pentiumおよび Intelは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

目次

準備編

基本編

応用編

知識編

使用上のお願い

■ 取扱いに関すること

- 強い衝撃を与えないでください。破損や記録済みの内容が破壊される原因となります。
- 液晶画面に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。
- 硬いものと一緒にバックなどに入れると、押されたときなどに壊れる恐れがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れるおそれがあります。

■ 使用する場所について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い正しい取り扱いをしてください。

■ 使用条件

温度：5℃～35℃　湿度：30%～80%（RH）　ただし結露しないこと。

■ ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■ 結露にご注意

プレーヤーと外気の温度差が大きいと、プレーヤーに水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、プレーヤーが正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

■ お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

■ 接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

■ 記録したオーディオデータについて

- プレーヤーやパソコンの不具合で、オーディオデータが破損または消去された場合、そのデータ内容および付随的損害（音楽の購入取得に要した諸費用等を含む）の保証はできません。
- プレーヤーに転送し、記録したオーディオデータは暗号化処理されます。
- プレーヤーに転送し、記録したオーディオデータは、パソコンから削除しないでください。
- プレーヤーに転送し、記録したオーディオデータは、パソコンに戻しても、暗号化は解除されず再生ができません。
- プレーヤーに転送し、記録したオーディオデータを他のHD30GA9にコピーしても、コピーしたオーディオデータは再生できません。

■ 著作権を守りましょう

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承認を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- 市販の音楽CDなどを著作者の許諾無しに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。
- 個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の許諾無しに第三者に配布することはできません。
- 個人で楽しむ目的で記録したデータを、権利者の許諾無しに故意にインターネットで配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触する可能性があり、その場合処罰の対象となります。

使用上のお願い

■ アプリケーションソフトウェアおよびファームウェアのバージョンアップ

出荷以降、より良くお使いいただくために、アプリケーションソフトウェアやファームウェアの**バージョンアップ**をする場合があります。

アップデートについては、「**FAQ およびバージョンアップ情報**」にてご案内しております。

URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

■ 内蔵ハードディスクについて

このプレーヤーには、ハードディスクが内蔵されています。ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので、プレーヤーをお使いの際には、以下のことにお気を付けください。
いずれの場合も、故障、誤作動、記録内容の消失等不具合の原因となります。

- 直射日光の当たる場所、閉め切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
- 極端に低温になるところに置かないでください。
- 急激な温度変化を与えないでください。
- 雷がなっているときは使用しないでください。
- 磁石やスピーカーなど磁気を発するものの近くに置かないでください。
- 振動が強いところに置かないでください。
- 物をのせたり、物を落としたりしないでください。
- 水のかかるところや、湿気の多いところに置かないでください。ぬれると使用できなくなったり故障の原因になります。
- 近くにコップなど、液体の入った容器を置かないでください。ぬれると使用できなくなったり故障の原因になります。
- 動作中、非動作時に関わらず振動や衝撃を与えたり、振りまわしたり、落としたりしないでください。
- 強い力で押したり、ひねったりしないでください。
- 内蔵ハードディスクへの書き込み、読み込み中は電源を切ったり、USB ケーブルを取り外したりしないでください。
- 内蔵ハードディスクに保存した内容の損害については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

■ 内蔵ハードディスクのご注意

内蔵ハードディスクは、フォーマット(初期化)しないでください。フォーマットを行うと、内蔵ハードディスク内のファームウェア（プレーヤーが動作するためのソフトウェア）が消失し、プレーヤーが動作しなくなります。
フォーマットしてしまったときは、ファームウェアの修復を行ってください。

［Kenwood Media Application］取扱説明書　「お買い上げ時の状態に戻す」 → 35

■ 水濡れ判定シールについて

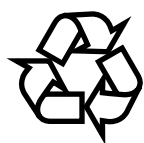
プレーヤーには修理時の原因特定を速やかに行うために、機器内部に水濡れ判定シールを貼り付けてあります。このシールにより水に濡れたかどうかを判別します。

使用上のお願い

■ 廃棄・譲渡時のデータ消去のご注意

このプレーヤーは、ハードディスクを内蔵しております。内蔵ハードディスクを使用した状態のまま廃棄·譲渡すると、ハードディスク上の情報を第三者に見られてしまうおそれがあります。廃棄·譲渡するときは、内蔵ハードディスク上のすべてのデータを消去してください。
ただし、データの消去、内蔵ハードディスクのフォーマットをしただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元されるおそれがあります。見られたくない情報を保存していた場合には、市販のデータ消去ソフトなどを使用してデータを消去し、復元されないようにすることをおすすめします。

■ 内蔵電池について

- 内蔵電池の交換は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にご依頼ください。
- 内蔵電池は、プレーヤーを使用していなくても少しずつ自然放電していきます。プレーヤーを長時間放置しておいた場合、内蔵電池が放電し切ってしまう場合があります。この場合は、充電してからご使用ください。
- 充電時間は内蔵電池の状態や周囲の温度などにより変わります。
- 低温の環境で使用すると、再生時間が短くなります。
- 内蔵電池は約500回充電できます。（参考値であり、保証する値ではありません）
- 内蔵電池は消耗品です。繰り返し使用していると、使用できる時間が徐々に短くなります。充分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは内蔵電池が劣化していると思われます。新しい電池と交換してください。
- 内蔵電池が放電しきったことによる、記録内容の変化·消失については、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 内蔵電池はリチウムイオン電池ですので、ニッカド電池やニッケル水素電池のように浅い充電や放電を繰り返すと容量が減少してしまうメモリー効果はありません。継ぎ足し充電ができます。

使用後は
リサイクルへ
充電式電池

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

リサイクルについての情報および内蔵電池の取り外しかたについては、[クイックスタートマニュアル] をご覧ください。

AC アダプターについて

プレーヤーに付属の AC アダプター「AC-050150A」(JEITA 規格・極性統一型プラグ付き) をご使用ください。

ご使用の際は、クイックスタートマニュアルの「**安全上のご注意**」をご覧ください。また、以下の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。
- ACアダプターを接続するときは、接続コードのプラグをプレーヤーのACアダプター端子にしっかり差し込んでください。この端子以外にプラグを差し込むと故障の原因になります。
- 接続コードを抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 付属品の AC アダプターはこのプレーヤー以外には使用しないでください。
- 通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。持ち運びは電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。
- 温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。AC アダプターのあとが残ることがあります。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオ、テレビ、携帯電話の近くで使用すると、受信障害の原因となる場合がありますので、離してお使いください。

■ 仕様

電源 .... AC100-240V (50/60 Hz)
定格入力容量 0.2A 13W
定格出力 DC5V 1.5A

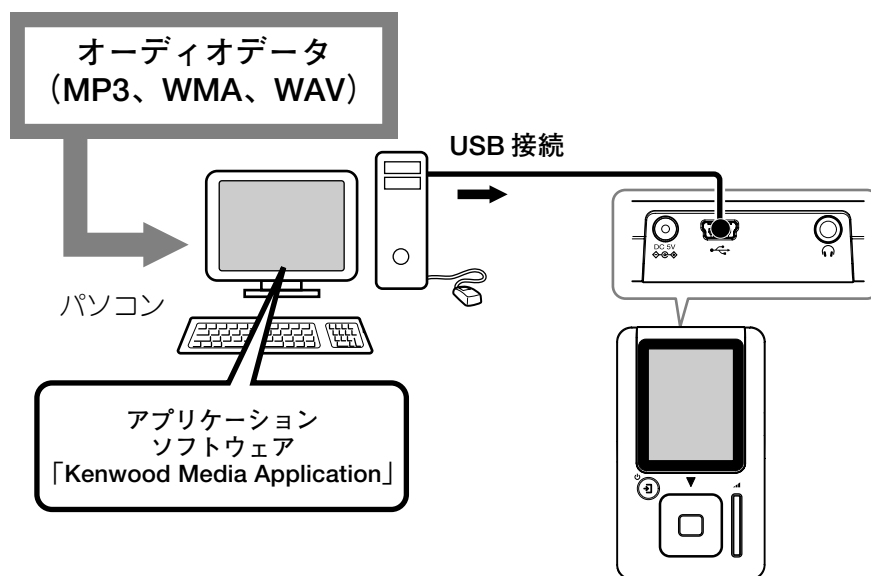
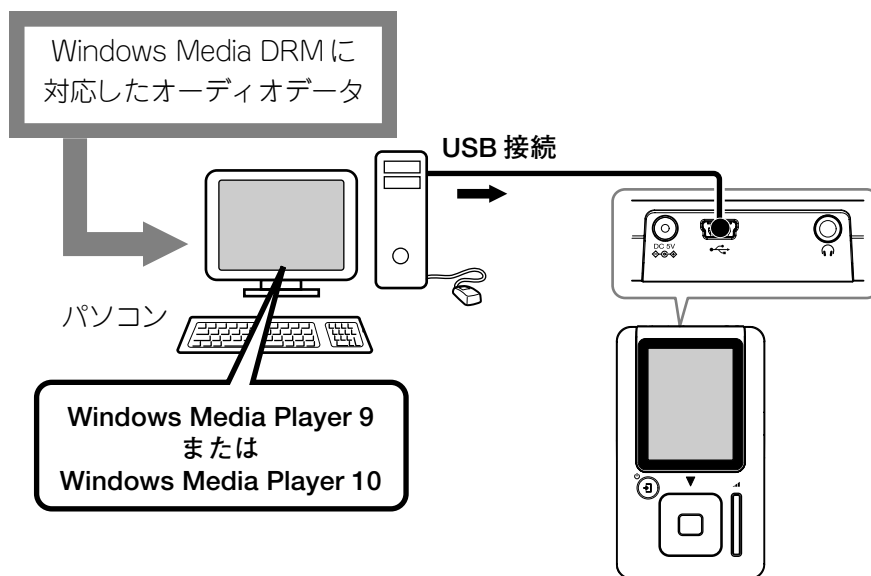
本製品は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

POINT:

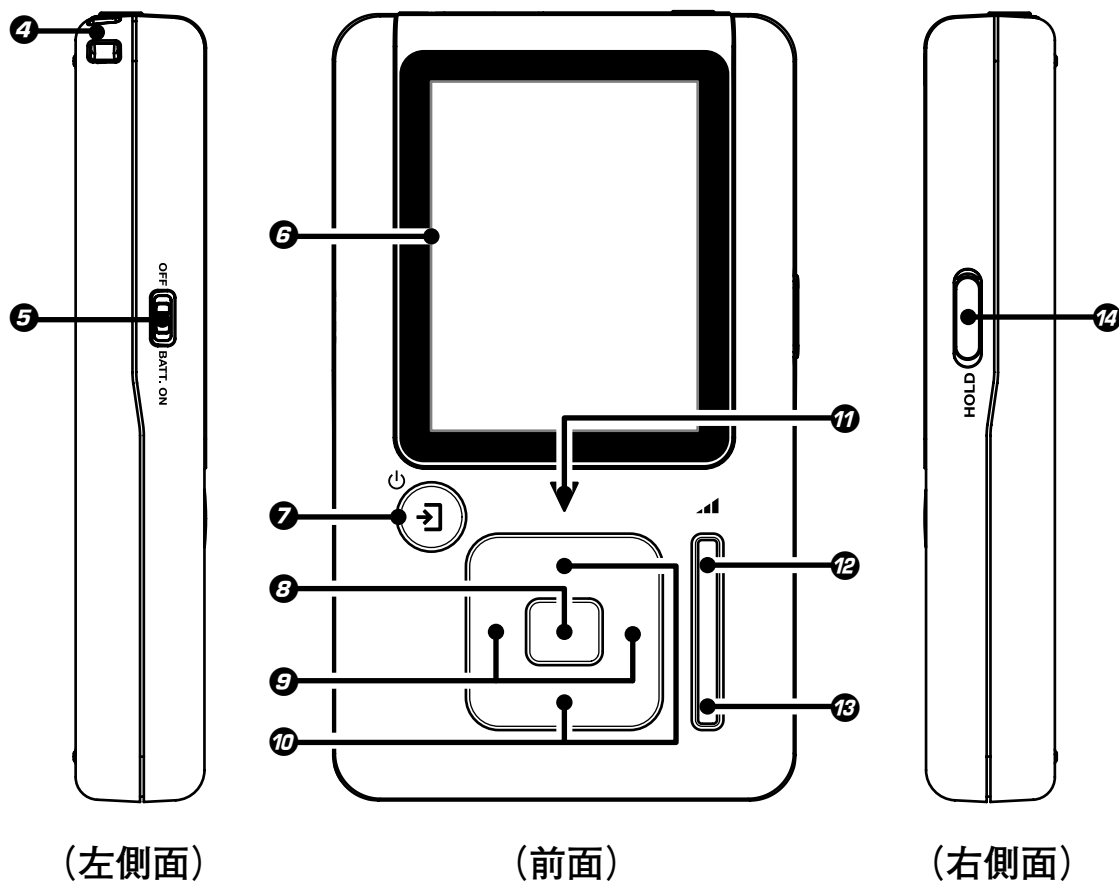
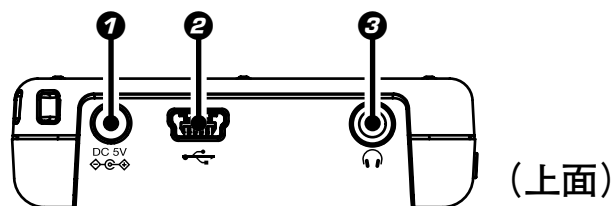
付属品の電源コードは国内向けです。
プレーヤーを外国で使用するときは、その国の規格に適合した電源コードをお使いください。

デジタルオーディオプレーヤーの概要

このプレーヤーは携帯型 HDD オーディオプレーヤーです。パソコン上の MP3、WMA、WAV のオーディオデータを「Kenwood Media Application」を使って、オーディオデータをプレーヤーに転送します。音楽 CD をパソコンに取り込むには、「Windows Media Player 9」または「Windows Media Player 10」などを使用します。詳しくは［Kenwood Media Application］取扱説明書をご覧ください。
また、プレーヤーを外付けハードディスクとして使うこともできます。 ✍「外付けハードディスクとして使う」 →44

■ アプリケーションソフトウェア「Kenwood Media Application」を使って転送

■「Windows Media Player 9」または「Windows Media Player 10」を使って転送

POINT：

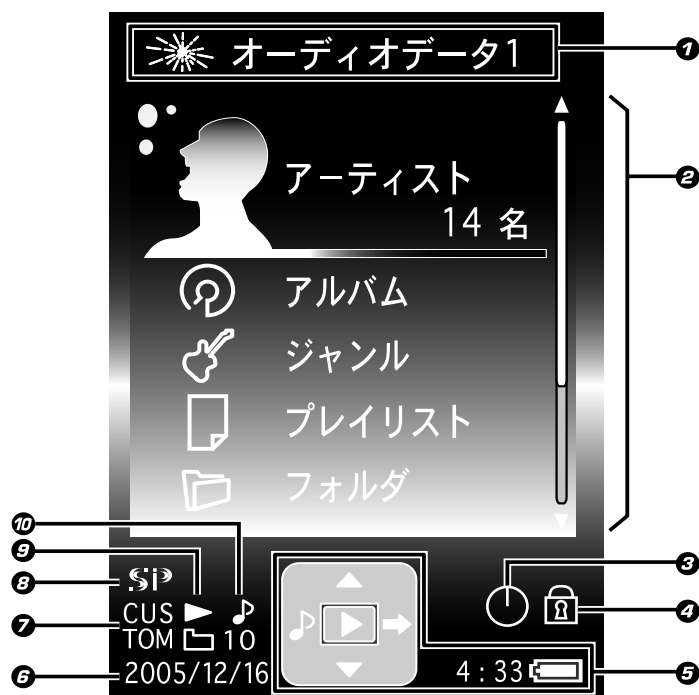
- 「**Kenwood Media Application**」、「Windows Media Player 9」または「Windows Media Player 10」を使ってプレーヤーに転送したオーディオデータは、暗号化処理されているので、このプレーヤー以外では再生できません。
- 「Kenwood Media Application」、「Windows Media Player 9 」または「Windows Media Player 10」以外を使ってプレーヤーに転送したオーディオデータは再生できません。
- オーディオデータを削除するときは、パソコンに接続し「**Kenwood Media Application**」などで削除します。
  ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書　「オーディオデータをプレーヤーから削除する」 →18

各部のなまえと働き

❶ **外部電源端子（DC 5V）** →14
❷ **USB 端子** →15
❸ **ヘッドホン接続端子** →16
❹ **ストラップ取り付け部**
❺ **BATT. ON/OFF（内蔵電池オン／オフ）スイッチ** →14
❻ **ディスプレイ**
❼ **⏻／⇥ボタン**
電源がオフのときにボタンを押すと、オンに切り換わります。 →16
電源がオンのときに２秒間以上ボタンを押すと、オフに切り換わります。 →16
電源がオンのときにボタンを押すと､「メニュー」画面を表示します。 →21
ディスプレイのバックライトが減光または消灯しているときにボタンを押すと、バックライトが点灯します。

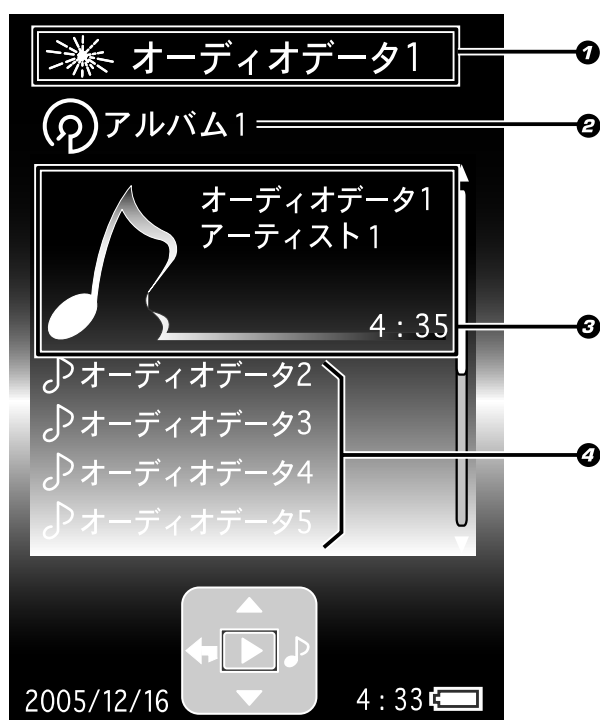
❽ **マルチコントロール［中央］ボタン** →17 →23
❾ **マルチコントロール［左／右］ボタン** →17 →23
❿ **マルチコントロール［上／下］ボタン** →17 →23
マルチコントロール［上／下］ボタンを深く押すと画面のスクロールや早送り／早戻しなどの速度が速くなります。
⓫ **トライアングル LED**
ディスプレイ消灯時には約５秒ごとに点滅し、さらにホールド機能がオンになっているときは2回点滅します。
⓬ **ボリューム（＋）ボタン** →19
⓭ **ボリューム（－）ボタン** →19
⓮ **HOLD（ホールド機能選択）スイッチ**
HOLD 側にスイッチをスライドさせると、電源を切って持ち歩くときや電車の中で聞くときなど、誤ってボタンが押されても本体が動作しないようにすることができます。

表示画面について

■ ホーム画面

ホーム画面に表示される項目（アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダなど）から検索して再生したり、設定の変更／確認などができます。

❶ 再生状態／再生中のオーディオデータ名
❷ 「アーティスト」
アーティストから検索 →18
「アルバム」
アルバムから検索 →18
「ジャンル」
ジャンルから検索 →18
「プレイリスト」
プレイリストから検索 →22
プレイリストはアプリケーションソフトウェア「Kenwood Media Application」で作成します。
✍ ［Kenwood Media Application］ 取扱説明書「プレイリストの作成」 →20
「フォルダ」
フォルダから検索
「お気に入り」 →30
「ごみ箱」 →32
「設定」 →41
❸「タイマー設定」 →41
❹ ホールド状態 →9
❺ 操作ガイド →12 ／時刻表示 →43 ／電池残量
❻ 日付表示 →43
❼「サウンドモード」 →26
❽「サプリーム」 →25
❾「再生モード」 →23
❿「イントロ再生」 →37

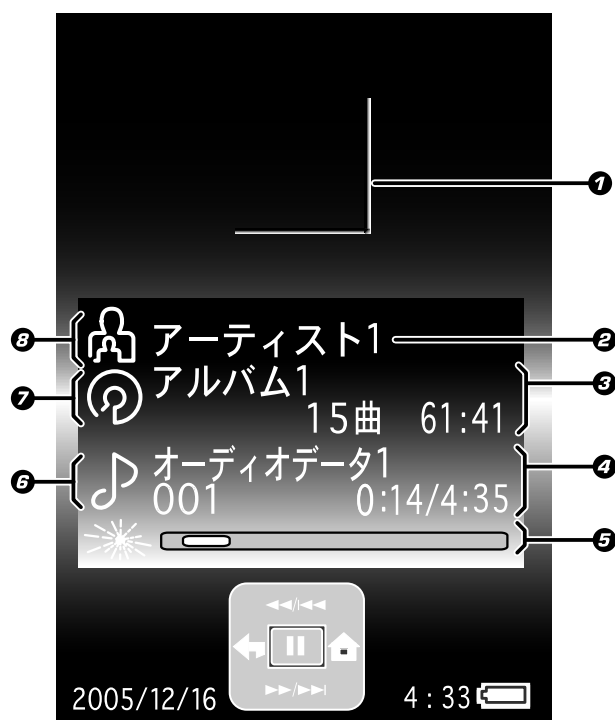
■ ライブラリ画面

ホーム画面で「**アーティスト**」、「**アルバム**」、「**ジャンル**」など「**設定**」を除く項目を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押すとライブラリ画面を表示します。

❶ 再生状態／再生中のオーディオデータ名
❷ 現在表示している項目名
❸ 選んだ項目、お気に入りまたはオーディオデータ
❹ オーディオデータアイコン

表示画面について

■ 再生画面

再生中のオーディオデータに関する情報を表示します。

「アーティスト」から再生したとき：

❶ ジャケット画像表示エリア
オーディオデータにジャケット画像情報があるときの、表示エリアです。
✍［Kenwood Media Application］　取扱説明書
「ジャケット画像の設定」　→25
「ジャケット画像の一括設定」　→26

❷ アーティスト名*(またはプレイリスト名／フォルダ名)**

❸ アルバム名*／
アルバムの曲数／アルバムの再生時間

❹ タイトル名*／トラック番号／経過時間および再生時間

❺ 再生状態／経過時間表示バー

❻ オーディオデータアイコン

❼「アルバム」アイコン（または「プレイリスト」アイコン／「フォルダ」アイコン）**

❽「アーティスト」アイコン

* タグ情報が無い場合には、アーティスト名、アルバム名は、「No Information（ノーインフォメイション）」と表示します。
✍「用語解説」　→45

** ホーム画面で「プレイリスト」または「フォルダ」から再生したとき。

■ 設定画面

ホーム画面で「**設定**」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押すと、「**設定**」画面を表示します。

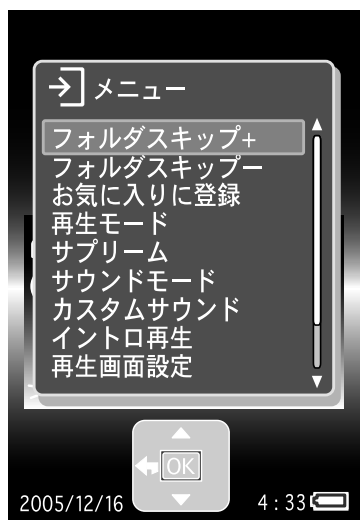
✍「設定を確認／変更する」　→41

POINT：

- **全角英数字の表示について：**
  フォルダ名、オーディオデータ名、お気に入り名、アルバム名、アーティスト名およびタイトル名は半角表示になります。
- ホーム画面、ライブラリ画面および「**設定**」画面を表示中に、約60秒間何も操作しないと再生画面に戻ります。

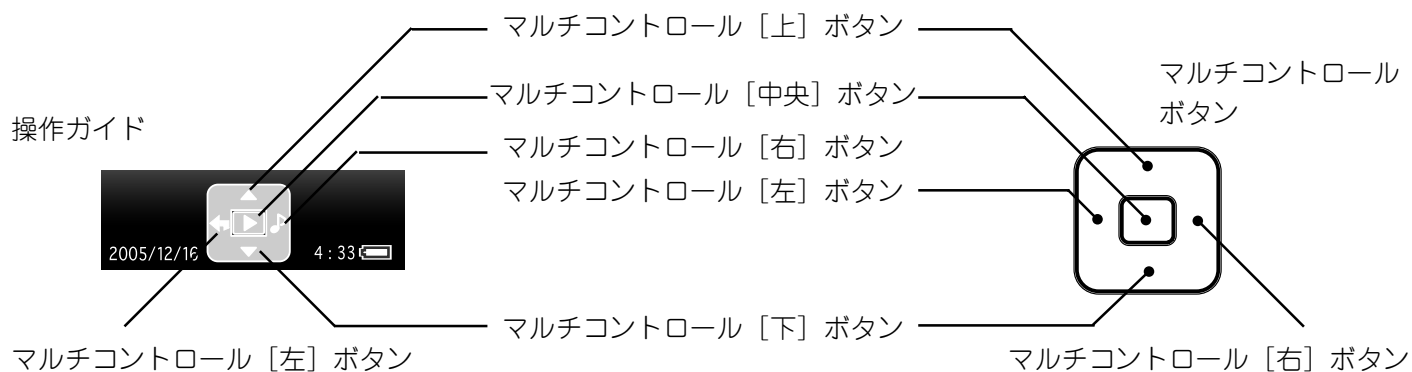
表示画面について

■「メニュー」画面

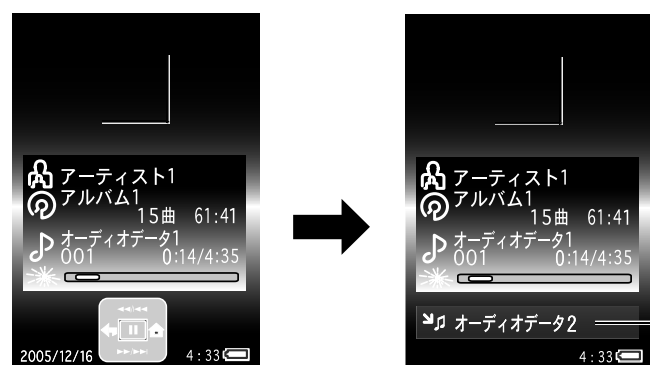
⏻／ ボタンを押すと、表示されている画面に関連したメニューをポップアップ表示します。

POINT：

- もう一度 ⏻／ ボタンを押すと、「**メニュー**」画面は消えます。また、「**メニュー**」画面を表示中に約 10 秒間何も操作しないときも［**メニュー**］画面は消えます。
- 「**メニュー**」画面の最上位画面で、マルチコントロール［左］ボタンを押しても「**メニュー**」画面は消えます。

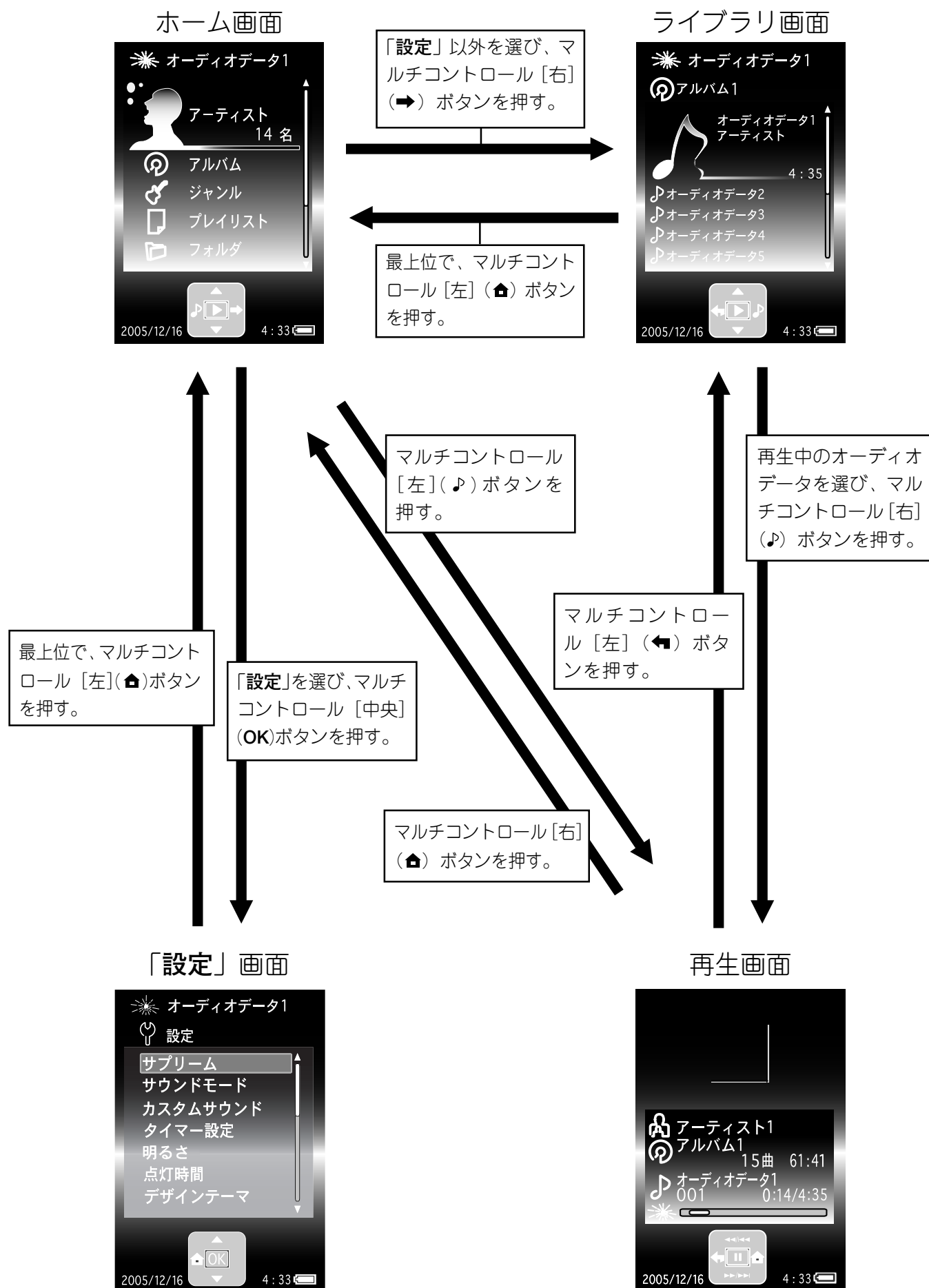
■ 操作ガイド

操作ガイドは、マルチコントロール［上／下／左／右／中央］ボタンを押したときのプレーヤーの動作を表しています。

► 再生	◄◄/I◄◄ 早戻し／スキップ	►►/►►I 早送り／スキップ	⌂ ホーム画面	♪ 再生画面
➡ 次画面へ／右へ	↰ 前画面へ	⬅ 左へ	▲ 上へ	▼ 下へ

「**メニュー**」画面で、「**操作ガイド**」の設定を「**オフ**」にする、または「**設定**」画面で「**操作ガイド**」の設定を「**オフ**」にすると、操作ガイドの表示を消すことができます。

✍ 「**設定を変更／確認する**」 → 41

操作ガイドの表示を消すと、再生画面を表示中に次のオーディオデータの曲情報を表示します。

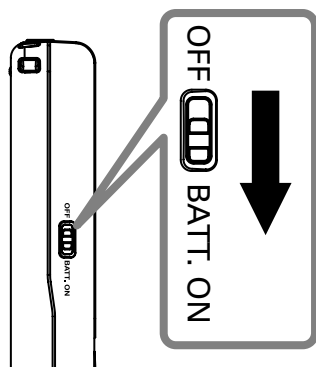
表示画面について

■ 画面移行のしかた

内蔵電池を充電する

プレーヤーにACアダプター（付属品）を接続すると、内蔵電池の充電がはじまります。購入後はじめて使うときや、長時間使わなかったあとは、充分に充電してください。

ACアダプターから充電する

1 BATT. ON/OFFスイッチを「ON」側にスライドさせる。

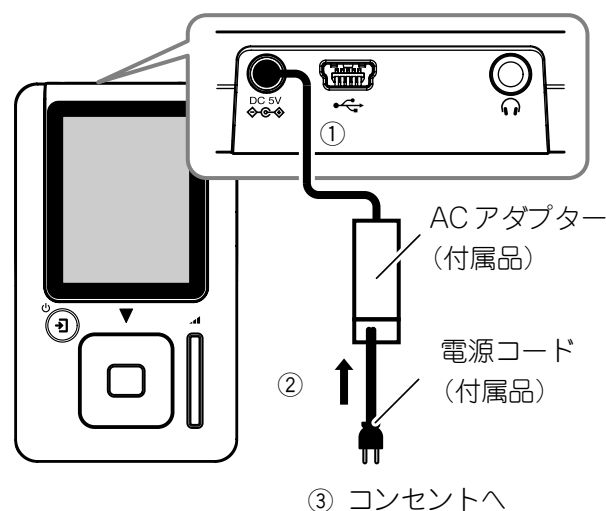
購入後はじめて使うときは、BATT. ON/OFFスイッチを「ON」側にスライドしてください。

重要：BATT. ON/OFFスイッチが「OFF」の場合、充電することができません。

- スイッチを切り換えるときは、柔らかく先の尖ったもの（楊子など）で操作します。（硬いもので無理に切り換え操作を行うと本体に傷が付く原因となります。）
- ご使用のときは、本体側面のBATT. ON/OFFスイッチを「ON」側にスライドしてください。このスイッチは電池の過放電を防ぐためのものです。
- 長い間使わないときは、BATT. ON/OFFスイッチを「OFF」側にスライドしてください。このとき、以下の設定が初期値に戻ります。
  - タイマー設定
  - 日付と時刻

2 プレーヤーにACアダプター（付属品）を接続する。

プレーヤーにACアダプター（付属品）を下図の順番で接続してください。

プレーヤーの充電がはじまると、液晶パネルに充電中アイコン（赤）を表示します。約2.5時間で充電が完了します。充電が終了すると、充電終了アイコン（緑）を表示します。

このとおりに画面が表示されない場合は ... ✍「故障かな…？と思ったら」→47

POINT：

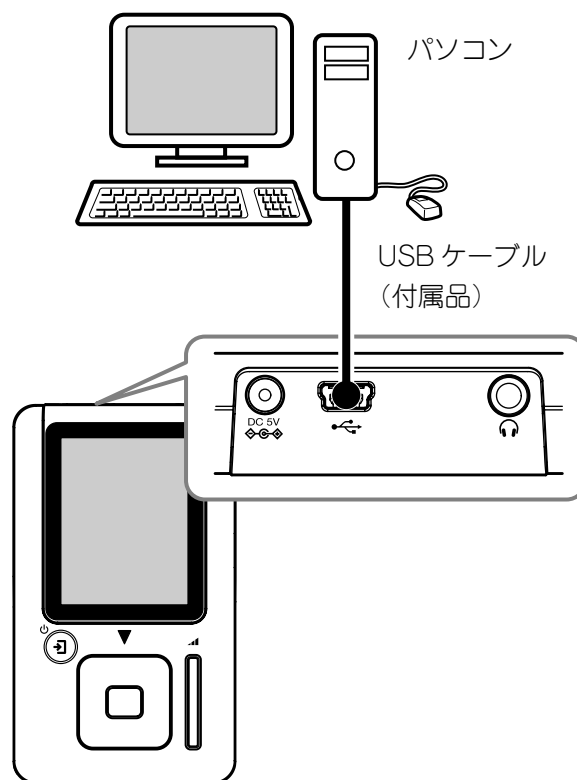
- 充電時間は、内蔵電池の状態や周囲温度により変わります。
- プレーヤーの温度上昇を抑制するために一時的に充電を停止することがあります。
- 内蔵電池の充電は、使用条件の温度範囲内で行ってください。範囲外では充電できないことがあります。
  ✍「**使用上のお願い**」→4
- 内蔵電池の残量が少なくなると、電池残量表示が、→→→と変わります。電池の残量が少なくなったら充電してください。

内蔵電池を充電する

パソコンとUSB接続して充電する

1 BATT. ON/OFF スイッチを「ON」側にスライドさせる。

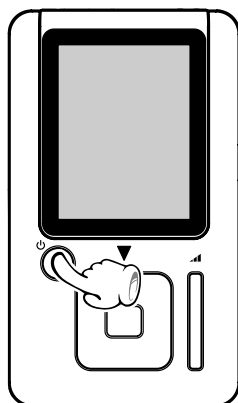
2 パソコンとプレーヤーを USB ケーブル（付属品）で接続する。

付属品のUSB ケーブル以外を使うと動作しないときがあります。

POINT：

- USB 接続して充電していても、オーディオデータの転送など、プレーヤーが動作している状態では、電池残量が減る場合があります。
  パソコン本体のUSB電源供給機能の性能によるため、パソコンの機種により充電ができない場合や充電が完了しない場合があります。
- USB ハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。

電源を入れる／切る

■ 準備しましょう

BATT. ON/OFF スイッチを「**ON**」にしてください。 →14

電源を入れる：

⏻／⇥ ボタンを押す。

電源を切る：

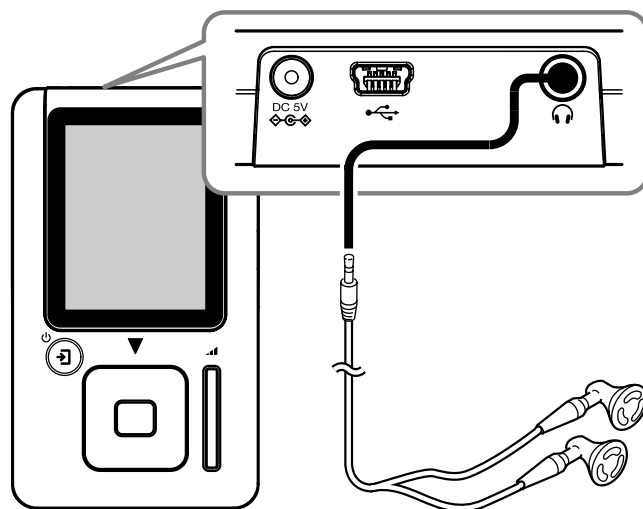
⏻／⇥ ボタンを 2 秒間以上押し続ける。

POINT：

- HOLD 状態のときは電源の入 / 切ができません。HOLD を解除してからボタンを押して電源の入 / 切をしてください。
- はじめて使うとき、またはリセット後にはじめて電源を入れた場合は、「**INITIAL SETTINGS**」の設定画面を表示します。
  表示する言語、日付および時刻を設定してください。
  ✍「**設定を変更／確認する**」 →41
  ✍「**日付と時刻を設定する**」 →43
- 一定時間何も操作しないと、画面が暗くなり、そのあと画面が消えます。ただし、AC アダプター接続中または USB 接続中は、画面は暗くなりますが消えません。
  ✍「**点灯時間**」 →42
- 電源が切れた状態で AC アダプターを接続したときは、充電状態になります。
- 一時停止状態で約 3 分間が経過すると、自動的に電源が切れます。

オーディオデータを再生する

■ 準備しましょう

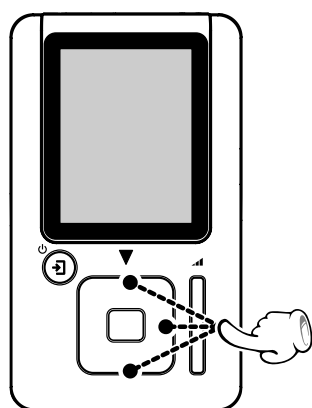
- オーディオデータを、プレーヤーに転送してください。
  ✍［**Kenwood Media Application**］**取扱説明書**
  「**オーディオデータをプレーヤーに転送する**」 →17
- ヘッドホン(付属品)を接続します。
- 電源を入れてください。

POINT：

- ヘッドホンを抜き差しするときは、本体の電源が切れている状態で行ってください。
- プラグは奥まで確実に差し込んでください。完全に差し込まれていない場合、音がでないときがあります。

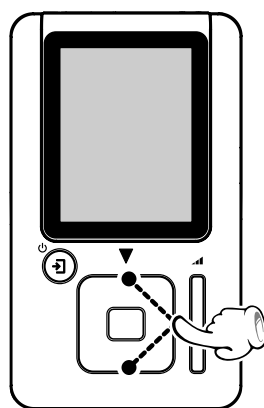
オーディオデータを選んで再生する

プレーヤーにはあらかじめデモ曲が収録されています。

1 **ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して項目（「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「フォルダ」）を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押す。**

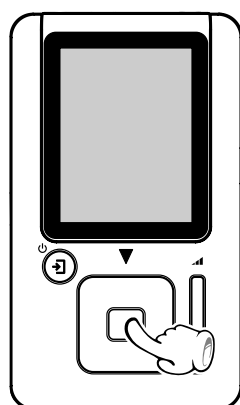
マルチコントロール［上／下］ボタンを深く押すと高速でスクロールします。

選んだ項目の内容を表示します。

2 **マルチコントロール［上／下］ボタンを押して再生したい項目を選ぶ。**

項目を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押すと、その中の項目を表示することができます。

前の画面に戻すときは、マルチコントロール［左］ボタンを押します。

3 **マルチコントロール［中央］ボタンを押す。**

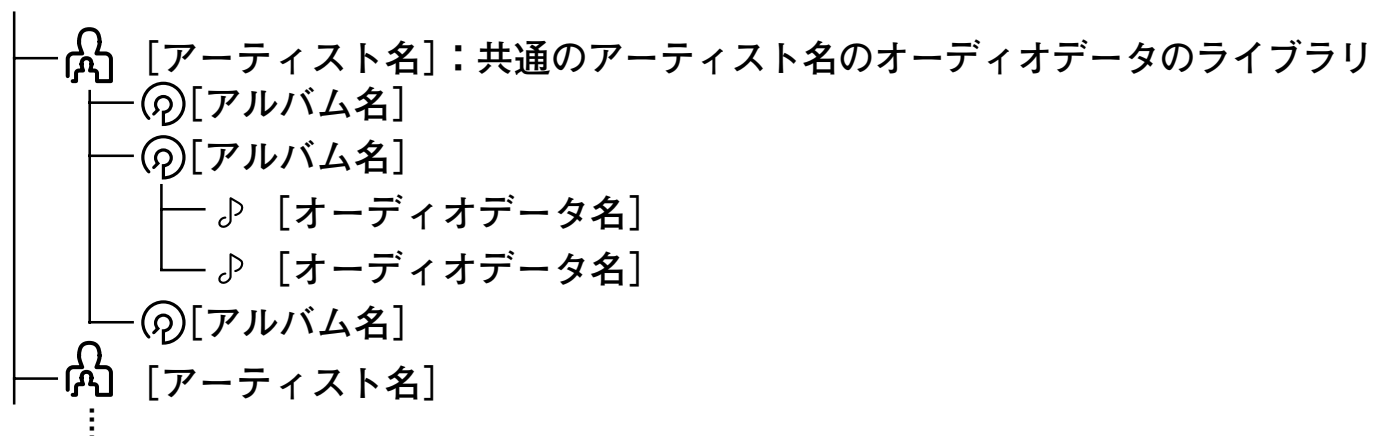
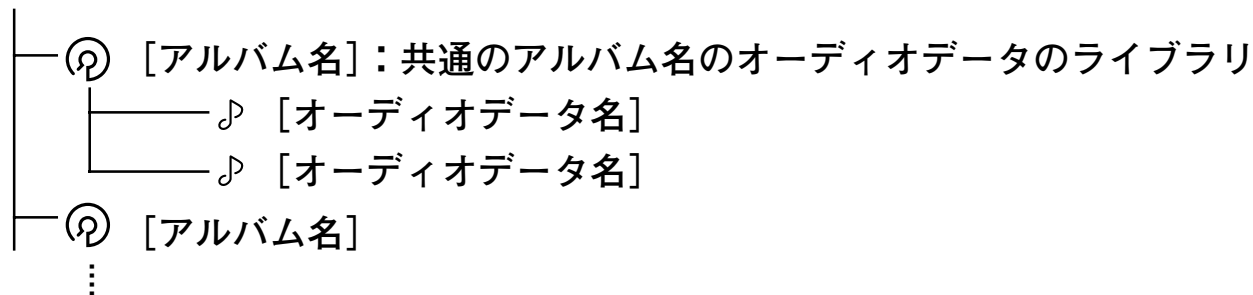
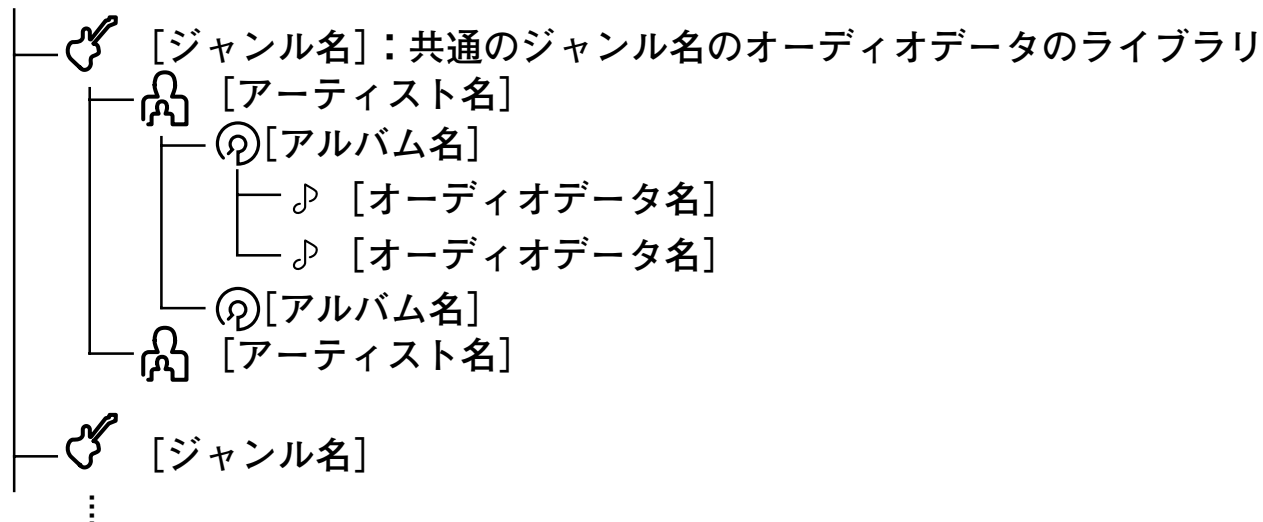
選んだ項目を現在設定されている再生モードにしたがって再生します。

「再生モードを設定する」 → 23

再生中に手順1～3の操作をした場合、再生を中断して、選んだ項目の再生がはじまります。

オーディオデータの再生順を「**トラック番号**」、「**名前**」または「**日付**」で並べ替えることができます。

「オーディオデータを並べ替える」 → 35

■ホーム画面のアーティスト／アルバム／ジャンルの構成

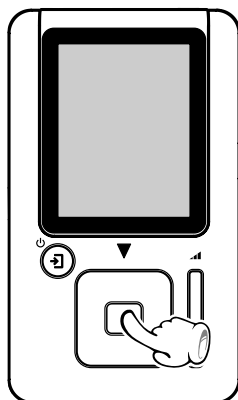
アルバム

POINT：

- 曲情報が異なると､実際には同じアーティスト名／アルバム名／ジャンル名のオーディオデータでも､違うアーティスト名／アルバム名／ジャンル名のフォルダ構成となります。
- 1つの項目の中に表示または再生できる項目やオーディオデータの数は、最大999個までです。
- タグ情報が無い場合には、アーティスト名、アルバム名は、「No Information」と表示します。

✍「用語解説」→45

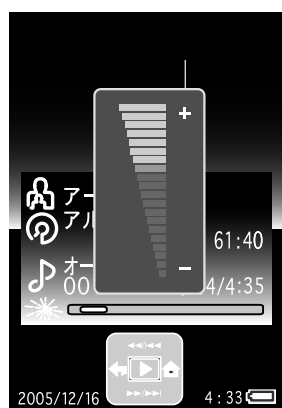
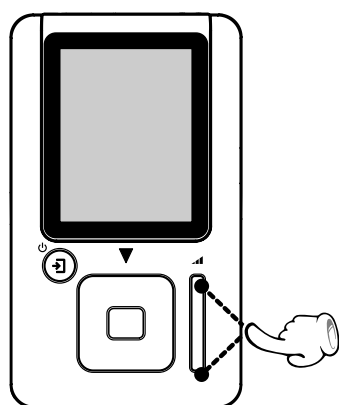
一時停止する（ポーズ）

1 再生中にマルチコントロール［中央］ボタンを押す。

もう一度マルチコントロール［中央］ボタンを押すと、続きを再生します。

POINT：

- 再生する項目に多数のオーディオデータが入っているときや、一時停止したあとでは、マルチコントロール［中央］ボタンを押しても再生まで数秒間かかることがあります。
- 一時停止状態で約 3 分間が経過すると、自動的に電源が切れます。

音量の調節

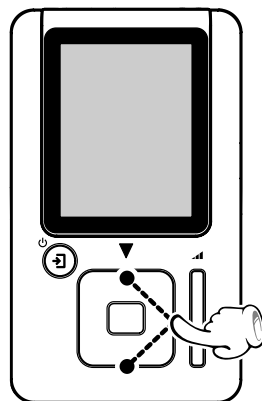
1 ボリューム（＋／－）ボタンを押す。

ボリューム（＋）ボタン：
音量が上がります。

ボリューム（－）ボタン：
音量が下がります。

- ボリューム（＋／－)ボタンを押すと音量調節バーが表示され､ボタンを離すと約2秒後に消えます。

早送り／早戻しする

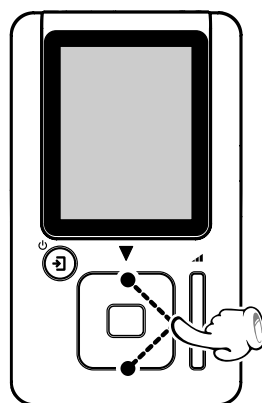
1 **再生中で再生画面表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを 1 秒間以上押し続ける。**

押す深さにより速度を選ぶことができます。

マルチコントロール［上］ボタン：
浅く押す：低速（x 20 倍相当）早戻し
深く押す：高速（x 50 倍相当）早戻し

マルチコントロール［下］ボタン：
浅く押す：低速（x 20 倍相当）早送り
深く押す：高速（x 50 倍相当）早送り

POINT：
- 再生モードを「**1 曲リピート**」に設定しているときは、操作しても次のオーディオデータには移りません。
- 早戻し／早送り中は、音声は再生されません。

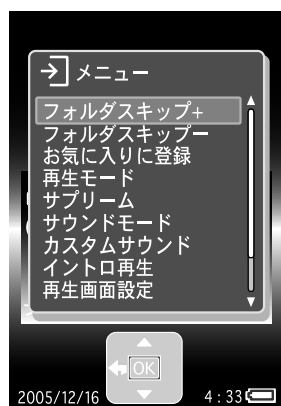
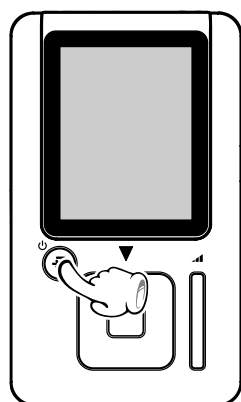
オーディオデータをスキップする

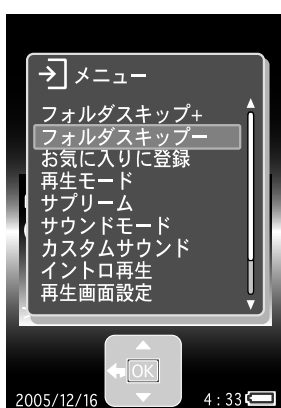
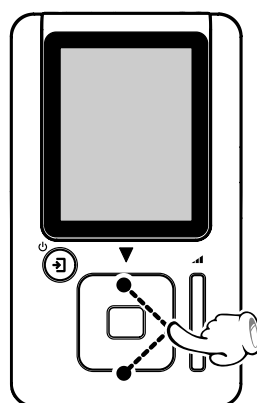
1 **再生中や一時停止中で再生画面表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押す。**

マルチコントロール［上］ボタン：
オーディオデータ再生直後（経過時間が 0：00～0：02 の間）にマルチコントロール［上］ボタンを押すと、1 つ前のオーディオデータの先頭にスキップします。
オーディオデータ再生中（経過時間が 0：03 以降）にマルチコントロール［上］ボタンを押すと、現在再生中のオーディオデータの先頭に移動します。

マルチコントロール［下］ボタン：
次のオーディオデータの先頭へスキップする。

- 一時停止中にマルチコントロール［上／下］ボタンを押し続けると、ボタンから指を離すまでスキップを続けます。

アルバムをスキップする

1 再生画面を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して、「フォルダスキップ＋」または「フォルダスキップー」を選ぶ。

「フォルダスキップ＋」を選んだとき：
次のアルバムにスキップします。

「フォルダスキップー」を選んだとき：
一つ前のアルバムにスキップします。

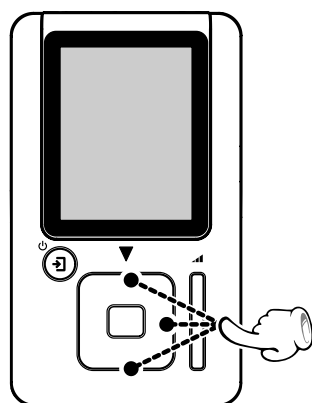
3 マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

プレイリストを再生する

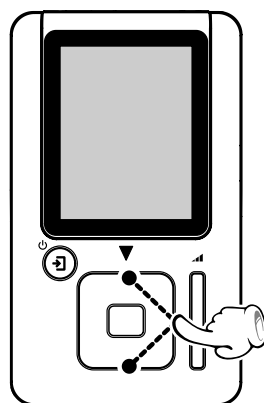
パソコンにインストールした、アプリケーションソフトウェア「Kenwood Media Application」を使用して、あらかじめプレーヤーにプレイリストを作成しておくと、「プレイリスト」フォルダからプレイリストを再生できます。

✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「プレイリストの作成」 → 20

1 ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「プレイリスト」を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押す。

「**プレイリスト**」を選んでさらにマルチコントロール［右］ボタンを押すと、その中のプレイリストまたはオーディオデータを表示することができます。

プレイリストの内容を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して再生したいプレイリストを選ぶ。

プレイリストを選んで、マルチコントロール［右］ボタンを押すと、プレイリストのオーディオデータを表示することができます。

前の画面に戻すときは、マルチコントロール［左］ボタンを押します。

3 マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

選んだプレイリストまたはオーディオデータを現在設定されている再生モードにしたがって再生します。

✍ 「**再生モードを設定する**」 → 23

再生中に手順 1 〜 3 の操作をした場合、再生を中断して、選んだプレイリストの再生がはじまります。

POINT：

- パソコンでプレイリストに登録した順番でオーディオデータを再生します。また、プレイリストの再生順はお好みの順番に並べ替えることができます。
  ✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「プレイリストの再生順を並べ替える」 → 21
- プレーヤーで登録した「**お気に入り**」はプレイリストにすることができます。
  ✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「プレーヤーの「お気に入り」をプレイリストに変換する」 → 23

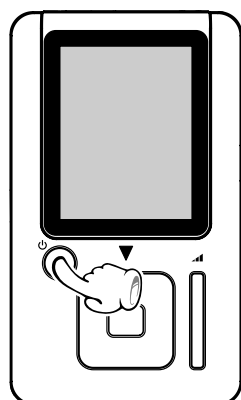
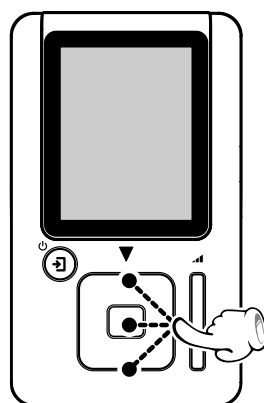
再生モードを設定する

リピート再生やランダム再生などを、お好みに合わせて設定できます。

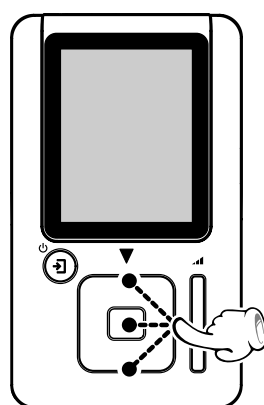
1

再生画面を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2

マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「再生モード」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

再生モードの一覧を表示します。

3

マルチコントロール［上／下］ボタンを押してお好みの再生モードを選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

再生モードが設定され、再生画面に戻ります。

✍「**再生モードの種類**」→24

（選択項目の左側の「✓」マークは現在の設定内容を表しています。）

POINT：

再生中の場合はすぐに、また一時停止中の場合は、マルチコントロール［中央］ボタンを押すと設定した再生モードで再生がはじまります。

再生モードを設定する

■ 再生モードの種類

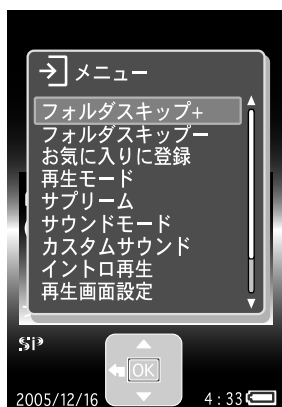
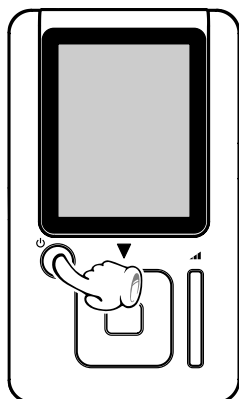
再生画面での表示	再生モード	動作内容
表示なし	通常再生	プレーヤー内のすべてのオーディオデータを繰り返し再生します。
	フォルダ再生	選んだフォルダ／プレイリスト内のオーディオデータを再生します。
1	1曲リピート	一つのオーディオデータを繰り返し再生します。
	フォルダリピート	選んだフォルダ／プレイリスト内のオーディオデータを繰り返し再生します。
	フォルダランダム	選んだフォルダ／プレイリスト内のオーディオデータを順不同に繰り返し再生します。
ALL	全曲ランダム	プレーヤー内のすべてのオーディオデータを順不同に繰り返し再生します。

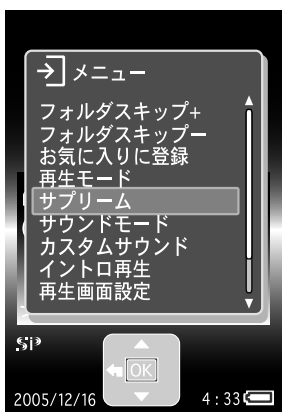
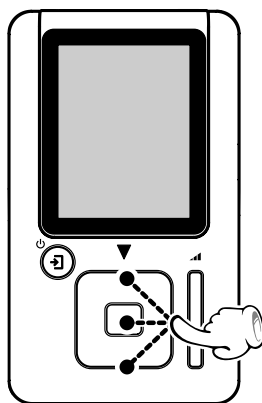
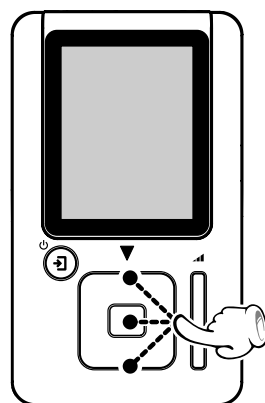
POINT：

- 再生モードは、「**設定**」画面からも選ぶことができます。
  ✍「**設定を変更／確認する**」 →41
- 再生中にフォルダランダム、または全曲ランダムを選んだときは、再生中のオーディオデータが終わってからランダムにオーディオデータを選んで再生します。

サプリームを設定する

サプリーム機能のオン／オフを選びます。

1 再生画面を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「サプリーム」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

3 マルチコントロール［上／下］ボタンを押してサプリーム機能の「オン」または「オフ」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

サプリーム機能の「**オン**」または「**オフ**」が確定し、再生画面に戻ります。

（選択項目の左側の「✔」マークは現在の設定内容を表しています。）

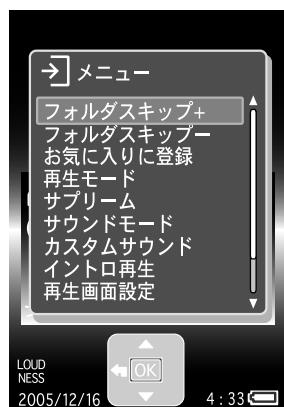
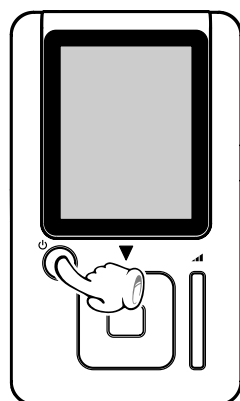
POINT：

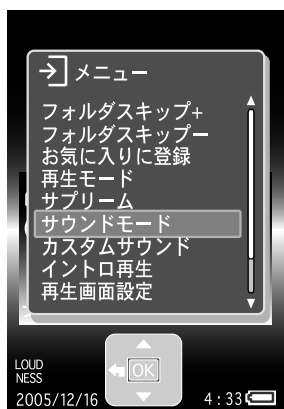
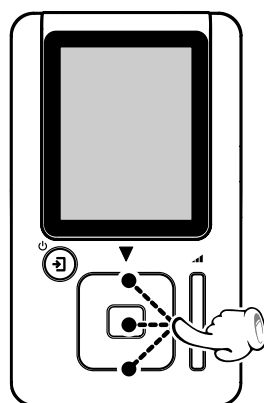
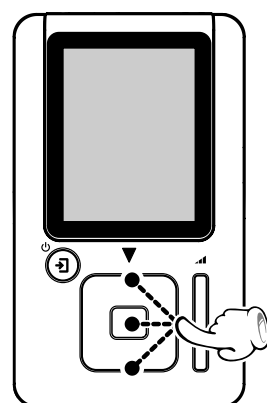
サプリーム機能のオン／オフは、「**設定**」画面からも選ぶことができます。

✍「**設定を変更／確認する**」→41

サウンドモードを設定する

サウンドモードを設定します。

1 再生画面を表示中に、⏻／⇥ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「サウンドモード」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

3 マルチコントロール［上／下］ボタンを押してお好みのサウンドモードを選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

サウンドモードが確定し、再生画面に戻ります。

✍ 「**サウンドモードの種類**」 →27

（選択項目の左側の「✔」マークは現在の設定内容を表しています。）

POINT：

「**CUSTOM**（カスタム）」を選ぶと、「**カスタムサウンド**」で設定した音質で再生します。

✍ 「「**カスタムサウンド」を設定する**」 →28

サウンドモードを設定する

■ サウンドモードの種類

再生画面での表示	サウンドモード	再生画面での表示	サウンドモード
表示なし	サウンドモードをオフにします。 「NORMAL（ノーマル）」	**JAZZ**	「JAZZ（ジャズ）」
BASS 1	「BASS1（バス）」	**DANCE**	「DANCE（ダンス）」
BASS 2	「BASS2（バス）」	**VOICE**	「VOICE（ボイス）」*
LOUD NESS	「LOUDNESS（ラウドネス）」	**NOISE CUT**	「NOISE（ノイズ） CUT（カット）」**
POPS	「POPS（ポップス）」	**CUS TOM**	「CUSTOM（カスタム）」***
ROCK	「ROCK（ロック）」		

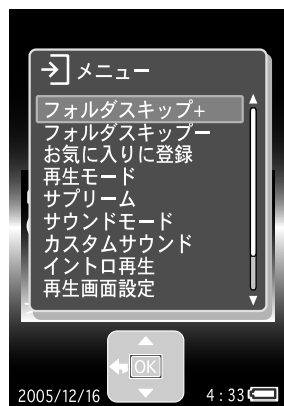
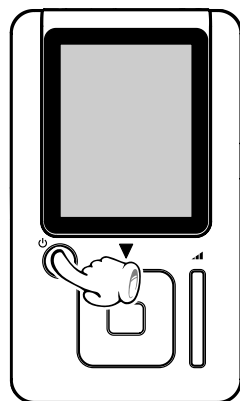
「VOICE（ボイス）」*　：人の声の帯域を強調します。語学の学習などに最適です。
「NOISE（ノイズ） CUT（カット）」**　：FMトランスミッターなどを使用したときにノイズが入ることがあり、そのときにこのモードにするとノイズを低減する効果があります。
「CUSTOM（カスタム）」***　：「**カスタムサウンド**」で設定した内容をお楽しみいただけます。

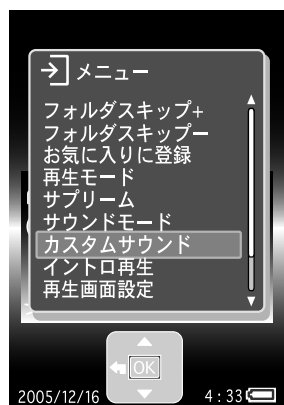
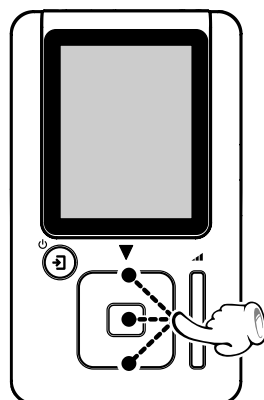
POINT：

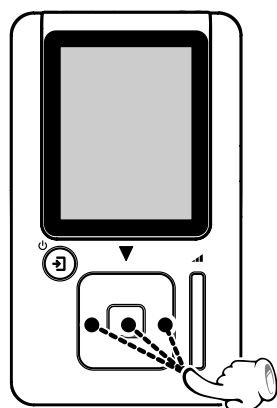
- 「**サウンドモード**」の選択画面で、マルチコントロール［上／下］ボタンを押すと、一時的に選んだサウンドモードの音質になります。ただし、マルチコントロール［中央］ボタンを押さなければ、その設定は確定されません。
- サウンドモードの設定は、「**設定**」画面からも選ぶことができます。
  ✍「**設定を変更／確認する**」 →41

「カスタムサウンド」を設定する

音質の細かい設定を行います。

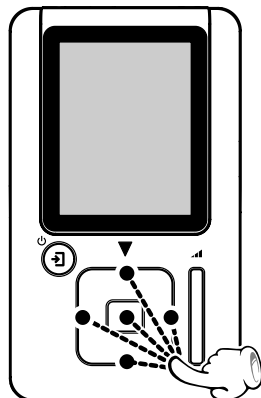
1 再生画面を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「カスタムサウンド」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

「カスタムサウンド」の調整画面を表示します。

3 マルチコントロール［右／左］ボタンを押して「低音」または「高音」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

次ページにつづく

サウンドモードを設定する

「カスタムサウンド」を設定する

4 **マルチコントロール［上／下／右／左］ボタンを押して、レベルと周波数を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。**

マルチコントロール［上／下］ボタン：
「**低音**」または「**高音**」のレベルを調整します。（0～＋5）

マルチコントロール［右／左］ボタン：
レベル調整をする周波数を選びます。
「**低音**」**：**「**45 Hz**」、「**90 Hz**」、「**180 Hz**」から選べます。「**45 Hz**」➡「**90 Hz**」➡「**180 Hz**」の順にレベル調整の効果が大きくなります。（選んだ周波数値より低い周波数帯がレベル調整の対象になります）
「**高音**」**：**「**1.8 kHz**」、「**3.7 kHz**」、「**6.4 kHz**」から選べます。「**6.4 kHz**」➡「**3.7 kHz**」➡「**1.8 kHz**」の順にレベル調整の効果が大きくなります。（選んだ周波数値より高い周波数帯がレベル調整の対象になります）

5 **さらに設定するときは、手順 3、4 を繰り返す。**

6 **マルチコントロール［右］ボタンを押して、「完了」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。**

高音や低音のレベルを調整した内容が確定され、再生画面に戻ります。

- 「**低音**」を選んでいるときにマルチコントロール［左］ボタンを押すと再生画面に戻ります。

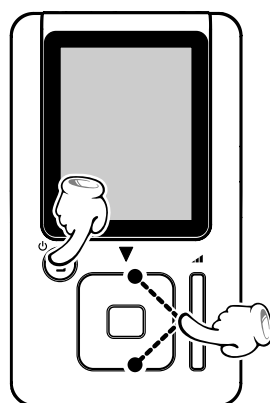
POINT：

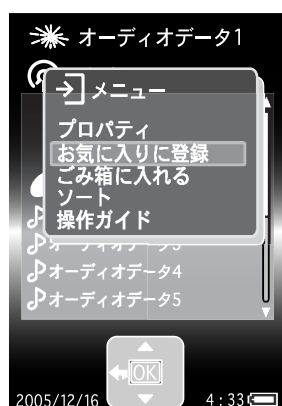
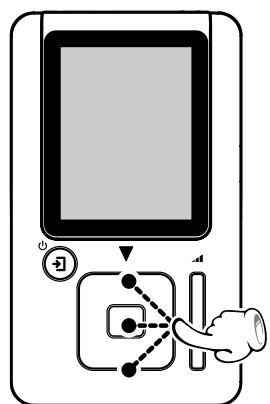
カスタムサウンドの設定は、「**設定**」画面からも選ぶことができます。

✍ 「**設定を変更／確認する**」 → 41

「お気に入り」に登録する

お気に入りのオーディオデータを「お気に入り」に登録すると、登録したオーディオデータだけを再生することができます。

1 ライブラリ画面（項目下のオーディオデータリストを表示した状態）を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「お気に入り」に登録したいオーディオデータを選び、⏻／➔] ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「お気に入りに登録」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

選んだオーディオデータが「**お気に入り**」に登録され、お気に入りアイコンに変わります。

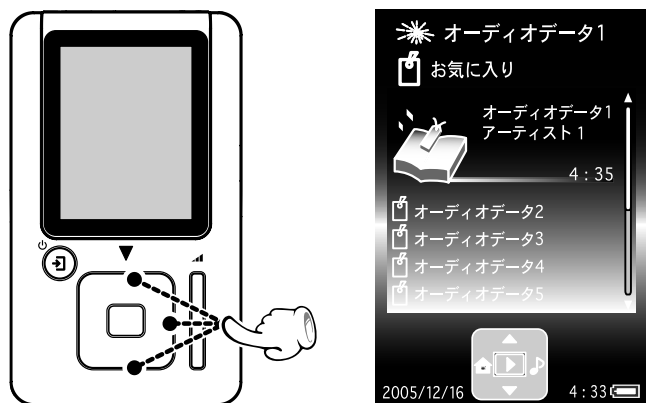
「**お気に入り**」を再生したときは、この操作で登録した順番でオーディオデータを再生します。

POINT：

- 再生画面を表示中に、⏻／➔] ボタンを押しても「**お気に入りに登録**」を選ぶことができます。
- 「**お気に入り**」に登録済みのオーディオデータを選び、手順２で「**お気に入りを解除**」を選ぶと削除できます。
- 「**お気に入り**」には、最大 50 件まで登録することができます。
- プレイリストやフォルダを、「**お気に入り**」に登録することはできません。
- プレーヤーで登録した「**お気に入り**」はプレイリストにすることができます。

✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「プレーヤーの「お気に入り」をプレイリストに変換する」 → 23

「お気に入り」に登録したオーディオデータの確認

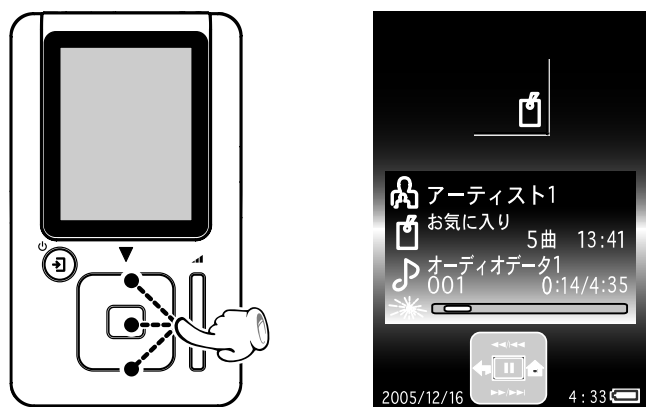
1 **ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「お気に入り」を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押す。**

「**お気に入りに登録**」で登録したオーディオデータを表示します。

オーディオデータをマルチコントロール［上／下］ボタンを押して選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押すと再生できます。

POINT：

- 「**お気に入り**」画面で ⏻／⇥ ボタンを押し、「**メニュー**」 画面を表示させた状態で「**お気に入りを解除**」を選ぶと、選んでいるオーディオデータを「**お気に入り**」から削除することができます。
- プレーヤーがリセットされたときや、電池の残量がなくなって電源が切れた場合は、最後にパソコンに接続したときの「**お気に入り**」の内容になります。
  「**リセットするには**」 →47

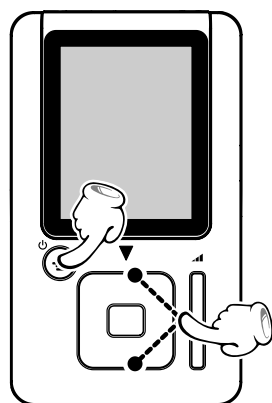
「お気に入り」に登録したすべてのオーディオデータを再生するには

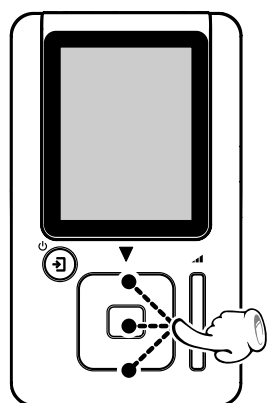
1 **ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「お気に入り」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。**

「**お気に入り**」を再生したときは、「**お気に入り**」に登録した順番でオーディオデータを再生します。

オーディオデータを削除する

オーディオデータまたはプレイリストを削除します。

オーディオデータを「ごみ箱」に入れる

1 ライブラリ画面（項目下のオーディオデータリストを表示した状態）を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して削除したいオーディオデータまたはプレイリストを選び、⏻／⇥ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

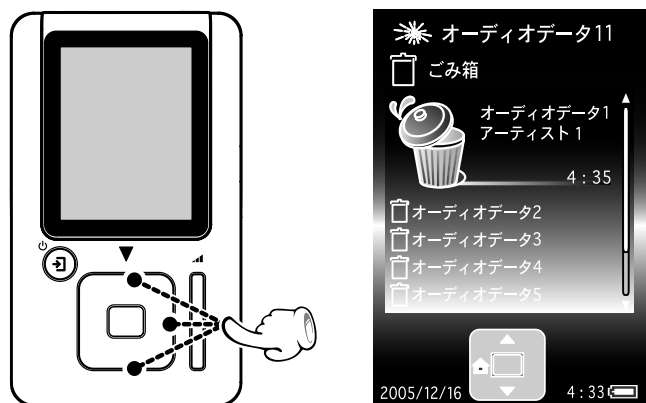
2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「ごみ箱に入れる」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

選んだオーディオデータなどが「**ごみ箱**」に入ります。「**ごみ箱**」に入れたデータを削除の前に確認したり、プレーヤーのハードディスクから完全に削除する事もできます。

POINT：

- 再生画面を表示中に、⏻／⇥ボタンを押しても「**ごみ箱に入れる**」を選ぶことができます。
- 「**ごみ箱**」に入れたオーディオデータなどを選び、手順2で「**ごみ箱から戻す**」を選ぶと「**ごみ箱**」から元に戻せます。
- 「**ごみ箱**」には、最大50件まで入れることができます。
- フォルダを、「**ごみ箱**」に入れることはできません。

「ごみ箱」に入れたオーディオデータを見るには

1 **ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「ごみ箱」を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押す。**

「**ごみ箱**」に入れたオーディオデータなどを再生することはできません。

「**ごみ箱**」に入れたオーディオデータなどを表示します。

POINT：

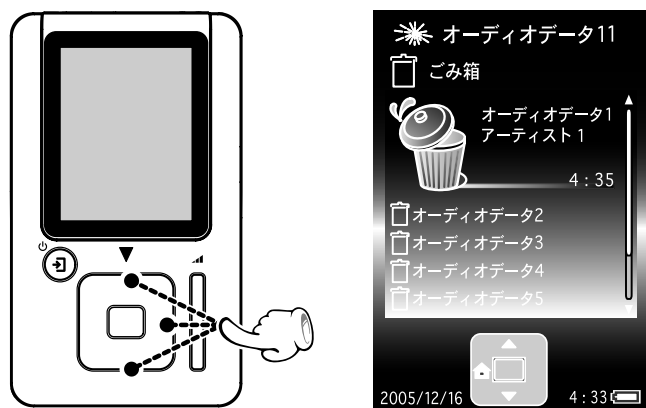
- 「**ごみ箱**」画面で ⏻／⇥ ボタンを押し、「**メニュー**」 画面を表示させた状態で「**ごみ箱から戻す**」を選ぶと、「**ごみ箱**」から元に戻すことができます。
- プレーヤーをリセットしたときや、電池の残量がなくなって電源が切れた場合は、最後にパソコンに接続したときの「**ごみ箱**」の内容になります。
  ✍「**リセットするには**」 → 47

「ごみ箱」に入れたオーディオデータを削除する

「ごみ箱」に入れたオーディオデータまたはプレイリストは、プレーヤーのハードディスクから完全に削除する事ができます。

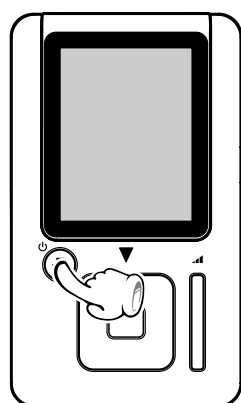
お知らせ：

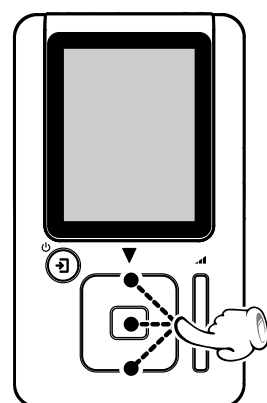
「**ごみ箱**」に入れたオーディオデータなどを削除する場合は、電池の残量がなくなって電源が切れることのないように、プレーヤーに付属のACアダプタを接続してください。
✍ 「**内蔵電池を充電する**」 → 14

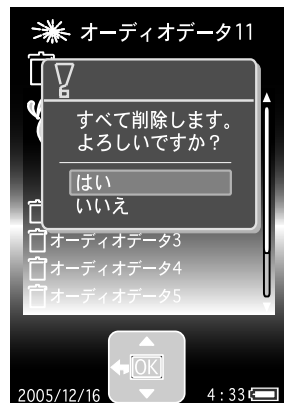
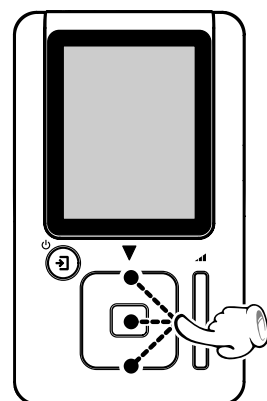
1 **ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「ごみ箱」を選び、マルチコントロール［右］ボタンを押す。**

「**ごみ箱**」に入れたオーディオデータなどを表示します。

次ページにつづく

オーディオデータを削除する

2 ⏻／⇥ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

3 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「ごみ箱を空にする」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

削除の確認をする画面が表示されます。

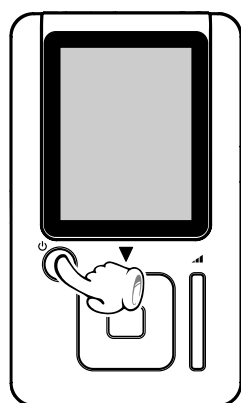
4 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「はい」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

「ごみ箱」からオーディオデータなどが削除され、元のフォルダからも削除されます。
ホーム画面に戻ります。

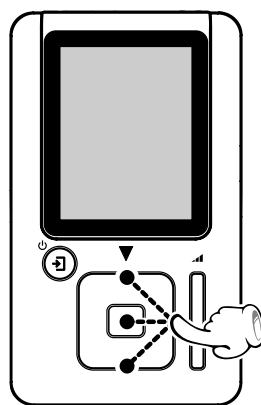
POINT：

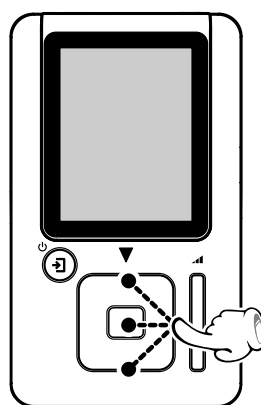
項目（アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダ）に含まれるオーディオデータをすべて削除しても、その項目は残ります。空の項目を削除するには、パソコンに接続し、「Kenwood Media Application」にてPDの「ライブラリ更新」を行ってください。 ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書 「ライブラリを更新する」 →27

オーディオデータを並べ替える

オーディオデータの再生順を「トラック番号」、「名前」または「日付」で並べ替えることができます。

1 ライブラリ画面（項目または項目下のオーディオデータリストを表示した状態）を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「ソート」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

「ソート」設定の画面を表示します。
お好みに合わせて、設定が選べます。

3 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して選択項目を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

「トラック番号」を選んだとき：
オーディオデータがタグ情報のトラック番号の順番に並びます。

「名前」を選んだとき：
フォルダおよびオーディオデータがフォルダ名およびファイル名の順番に並びます。

「日付」を選んだとき：
フォルダおよびオーディオデータが更新日時の古い順番に並びます。

（選択項目の左側の「✔」マークは現在の設定内容を表しています。）

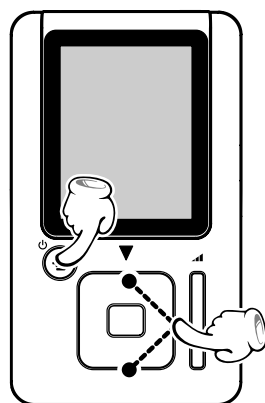
POINT：

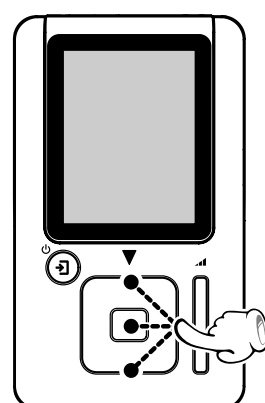
オーディオデータの並べ替えは、「**設定**」画面からも選ぶことができます。

✍「設定を変更／確認する」 →41

オーディオデータの情報を見る

オーディオデータ、プレイリストまたは項目の情報を見ることができます。

1 **ライブラリ画面（項目下のオーディオデータリストを表示した状態）を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して情報を見たいオーディオデータ、プレイリストまたは項目を選び、⏻／⇥ ボタンを押す。**

「**メニュー**」画面を表示します。

2 **マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「プロパティ」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。**

選んだオーディオデータなどの情報を表示します。（なにも表示するタグ情報がないときは、「**No Infomation**（ノー インフォメイション）」と表示します。）

オーディオデータを選んだ場合
トラック名／ファイルフォーマット／ビットレート／サンプリング周波数／再生時間／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名

プレイリストを選んだ場合
プレイリスト名／プレイリストに登録されているオーディオデータ数／総再生時間

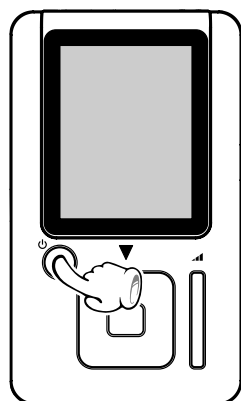
項目（「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「フォルダ」）を選んだ場合

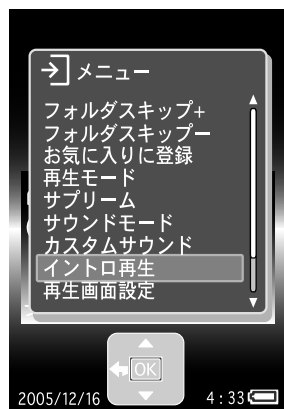
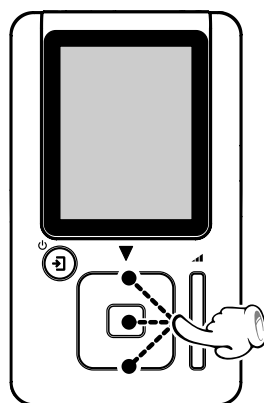
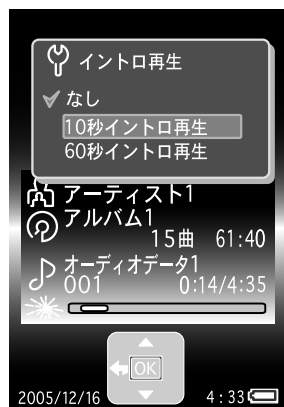
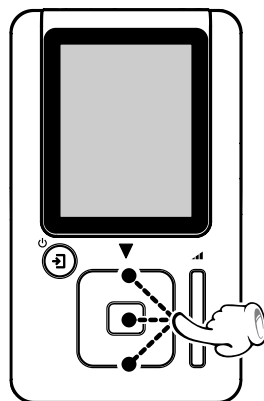
「**アーティスト**」：
アーティスト名／アルバム数
「**アルバム**」：
アルバム名／アーティスト名／オーディオデータ数／総再生時間
「**ジャンル**」：
ジャンル名／アーティスト数
「**フォルダ**」：
フォルダ名／フォルダまたはオーディオデータ数

POINT：
再生画面を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押しても「**プロパティ**」を選ぶことができます。

イントロ再生を行う

各オーディオデータの頭の部分を再生することができます。

1 再生画面を表示中に、⏻／⇥ ボタンを押す。

「メニュー」画面を表示します。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「イントロ再生」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

3 マルチコントロール［上／下］ボタンを押してお好みのイントロ再生時間を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

イントロ再生時間を設定し、再生画面に戻ります。

✍「**イントロ再生の種類**」 →38

（選択項目の左側の「✔」マークは現在の設定内容を表しています。）

POINT：

再生中の場合はすぐに、一時停止中の場合はマルチコントロール［中央］ボタンを押すと、すぐにイントロ再生がはじまります。

イントロ再生を行う

■ イントロ再生の種類

再生画面での表示	イントロの種類	動作内容
表示なし	通常再生	イントロ再生しないですべてを再生する
♪10	10秒イントロ再生	オーディオデータを設定した再生モードにしたがって頭から10秒ずつ再生します。
♪60	60秒イントロ再生	オーディオデータを設定した再生モードにしたがって頭から60秒ずつ再生します。

POINT：

イントロ再生時間は、「**設定**」画面からも選ぶことができます。

✍「**設定を変更／確認する**」 →41

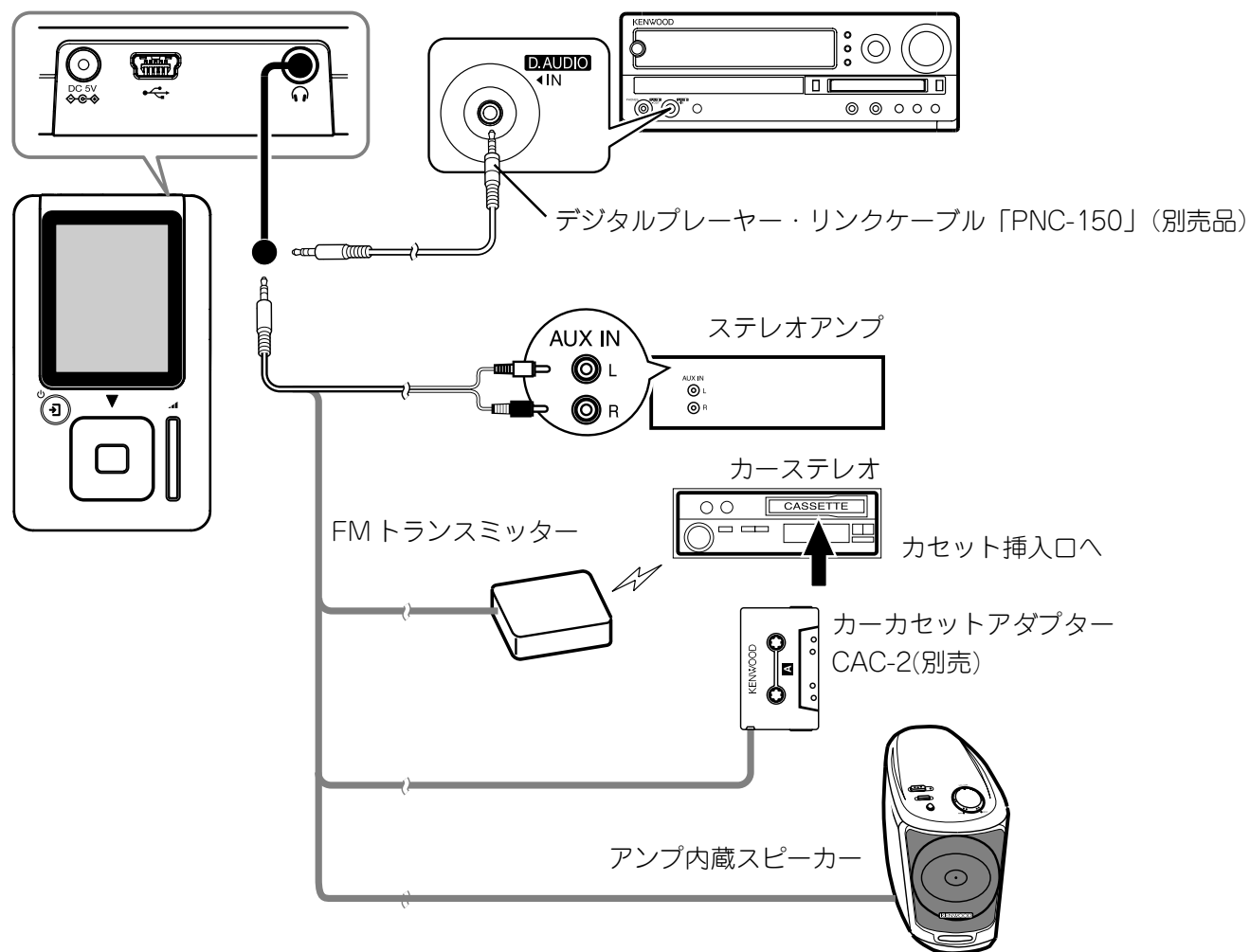
外部機器との接続

ヘッドホン接続端子を使うと、ケンウッド製デジタルオーディオリンク対応ステレオやアンプ内蔵のスピーカーなどの外部機器と接続することができます。

⚠注意 直射日光の当たる車内等の高温になる場所には放置しないでください。変形、故障の原因になります。

1 プレーヤーの ヘッドホン接続端子に、ステレオミニプラグ付きケーブル類（市販品）で外部機器を接続する。

デジタルオーディオリンク対応ステレオと接続するときは、デジタルプレーヤー・リンクケーブル（別売品）でデジタルオーディオリンク対応ステレオと接続します。
ケーブル類の接続は、プレーヤーおよび接続する機器の電源をオフにしてから行ってください。

デジタルオーディオリンク対応ステレオとの接続
対応機種： AX-D7、R-K801、ES-A5MD、SV-3MD、MDX-L1（2005年11月現在）

2 再生する。

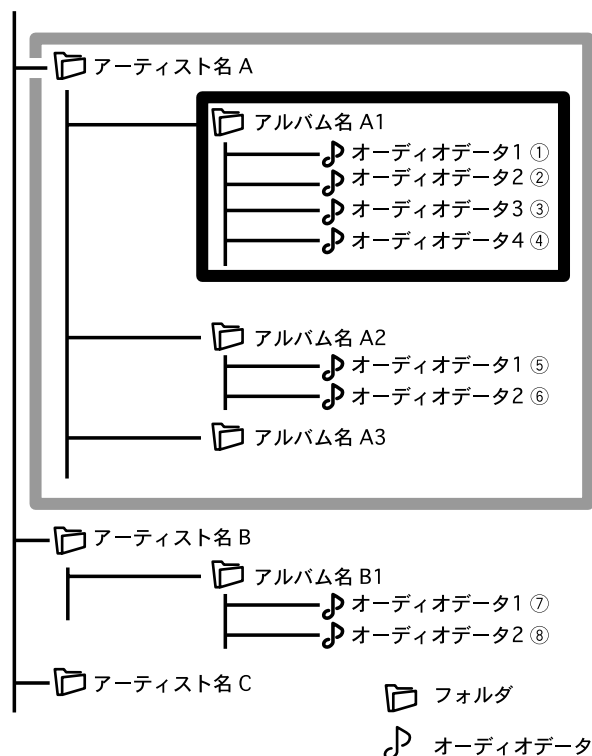
デジタルオーディオリンク対応ステレオと接続すると、ステレオの本体キーおよびリモコン操作で「再生/一時停止」や「スキップアップ・ダウン」などが操作できます。

POINT：
- ご使用の際は、接続した外部器機の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- このプレーヤーはアンプ部にデジタルアンプを採用しております。FMトランスミッターをご使用の際は、市販のデジタルアンプ対応機種をご使用ください。
- ご使用の車種や周辺機器、アンテナの位置など設置環境によって、ノイズが発生する場合があります。
- プレーヤーのサウンドモードを「NOISE CUT（ノイズカット）」に設定することにより、FMトランスミッターから発生するノイズを低減することが出来ます。

✍「サウンドモードを設定する」 →26

オーディオデータの選択と再生順について

数多くのオーディオデータをプレーヤーに記録することができます。
プレーヤー内のフォルダの階層を以下のようにしておくと、聴きたいオーディオデータを簡単に選ぶことができます。

■ フォルダの階層

マルチコントロール［中央］ボタンを押す：
オーディオデータ①を再生する

■ 再生の順番

通常の再生モードのとき：

アーティスト名Aでマルチコントロール［中央］ボタンを押したとき	①～⑥、⑦、⑧の順に繰り返し再生する
アルバム名A2でマルチコントロール［中央］ボタンを押したとき	⑤、⑥、⑦、⑧、①～④、の順に繰り返し再生する

再生モードがフォルダ再生モードのとき：

アーティスト名Aでマルチコントロール［中央］ボタンを押したとき	①～⑥の順に再生する
アルバム名A2でマルチコントロール［中央］ボタンを押したとき	⑤、⑥の順に再生する
アーティスト名Bでマルチコントロール［中央］ボタンを押したとき	⑦、⑧の順に再生する

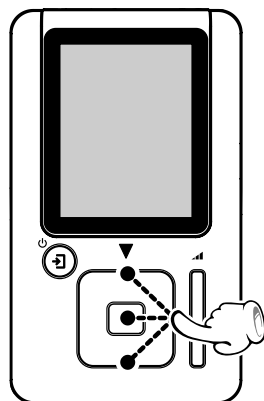
POINT：

- オーディオデータの再生順を「**トラック番号**」、「**名前**」または「**日付**」で並べ替えることができます。
  ✍「**オーディオデータを並べ替える**」 → 35
- このプレーヤーで再生できるのは、「**Kenwood Media Application**」または、「**Windows Media Player**」で転送したオーディオデータのみです。
- 1つのフォルダ内で再生の対象となるオーディオデータの数は、最大で999個です。

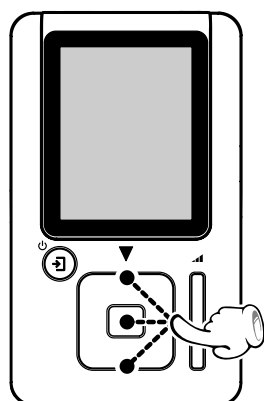
設定を変更／確認する

再生モードやビープ音などいろいろな設定を行うことができます。設定画面で設定を確認したり、お好みに合わせて変更することができます。

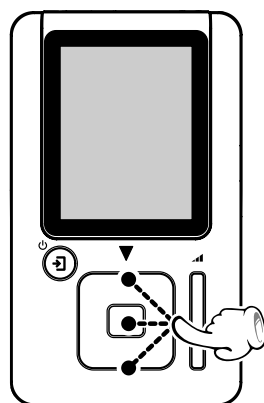
1

ホーム画面を表示中に、マルチコントロール［上／下］ボタンを押して「設定」を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

「**設定**」画面を表示します。

2

マルチコントロール［上／下］ボタンを押して変更／確認したい設定項目を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

選んだ設定項目ごとに、選択項目を表示します。お好みに合わせて、設定が選べます。

3

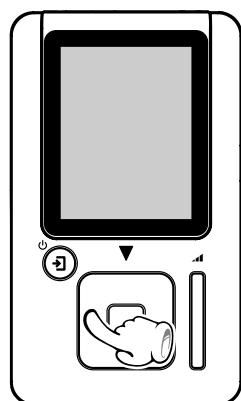
マルチコントロール［上／下］ボタンを押して選択項目を選び、マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

設定を確定し「**設定**」画面に戻ります。

✍「**設定項目の種類**」→42

（選択項目の左側の「✔」マークは現在の設定内容を表しています。）

次ページにつづく

設定を変更／確認する

4 **マルチコントロール［左］ボタンを押す。**

ホーム画面に戻ります。

■ 設定項目の種類

「サプリーム」： →25 →45
サプリーム機能のオン／オフを選びます。

「サウンドモード」： →26
サウンドモードの種類を選びます。

「カスタムサウンド」： →28
サウンドモードを設定し「**CUSTOM**(カスタム)」に登録します。

「タイマー設定」:
「**スリープタイマー**」または「**アラームタイマー**」を設定します。（どちらか 1 つのみ設定できます）
「**スリープタイマー**」**:** 設定した時間が経過すると、自動的にプレーヤーの電源がオフになります。
「**アラームタイマー**」**:** 設定した時間が経過すると、アラームが約 1 分間鳴ります。（「**アラームタイマー**」を設定すると、イルミネーション LED が消灯します。）

「明るさ」：
ディスプレイの明るさを設定します。

「点灯時間」：
プレーヤーを操作しない状態が続いたときに、設定した時間が過ぎると、自動的に LED を消灯およびディスプレイのバックライトを減光し、さらに 20 秒後に消灯します。

「デザインテーマ」：
壁紙を選びます。

「再生画面設定」：
再生画面のデザインを選びます。

「文字コントラスト」：
文字の見やすさを設定します。

「文字太さ」：
画面の表示文字の太さを選びます。

「イルミネーション」：
ボタン周辺のイルミネーションLEDが点灯する／しないを選びます。

「ソート」： →35
オーディオデータの再生順を「**トラック番号**」、「**名前**」または「**日付**」で並べ替えることができます。

「再生モード」： →23
リピート再生やランダム再生など、プレーヤーの再生モードを選びます。

「イントロ再生」： →37
設定した時間分だけ、イントロ再生を行います。

「オートプレイ」:
電源を入れたときに自動で再生がはじまる／はじまらないを選びます。

「操作ガイド」： →12
操作ガイドの表示／非表示を選びます。

「ビープ音」：
ビープ音を鳴らす／鳴らさないを選びます。

「言語」：
メニュー画面やエラーメッセージの表示言語を選びます。（再生画面やライブラリ画面の表示言語の切り換えはできません。）

「時刻形式」：
時刻表示を 12 時間表示にするか 24 時間表示にするかを選びます。

「日付と時刻」： →43
日付と時刻を設定します。

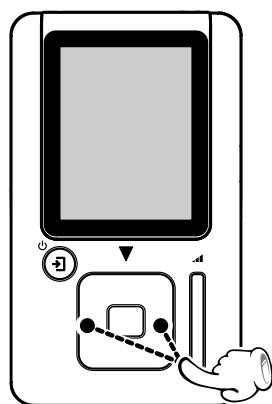
「設定リセット」：
設定の内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻します。

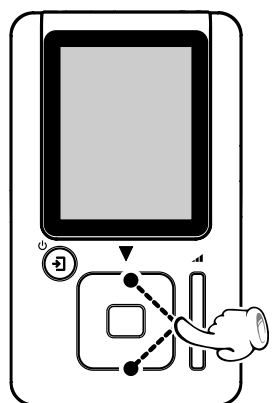
「システム情報」：
内蔵ハードディスクの全容量、プレーヤーのバージョンおよび「**モデル ID**」を表示します。

「アップデート」：
ファームウェアをアップデートするときに選びます。
（アップデートできる状態のときにのみ表示されます）

設定を変更／確認する

日付と時刻を設定する

1 「日付と時刻」の設定画面で、マルチコントロール［右／左］ボタンを押して変更したい項目を選ぶ。

- マルチコントロール［右］ボタンを押すたびに、「**年**」➡「**月**」➡「**日**」➡「**午前**」または「**午後**」➡「**時**」➡「**分**」の項目に移動します。
  マルチコントロール［左］ボタンを押すと逆方向に移動します。
- 「**年**」を選んでいるときにマルチコントロール［左］ボタンを押すと「**設定**」画面に戻ります。
- 「**時刻形式**」の設定を「**24時間**」に設定した場合は、「**午前**」または「**午後**」は表示されません。

2 マルチコントロール［上／下］ボタンを押して、日付および時刻を合わせる。

マルチコントロール［上］ボタン：
数値が増える。

マルチコントロール［下］ボタン：
数値が減る。

手順２～３を繰り返し操作して設定します。

3 マルチコントロール［中央］ボタンを押す。

日付と時刻を確定し「**設定**」画面に戻ります。

外付けハードディスクとして使う

プレーヤーを外付けハードディスクとして使うこともできます。

1 パソコンとプレーヤーを接続する。

✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「パソコンとプレーヤーを接続する」 →5

2 パソコンのエクスプローラを起動する。

プレーヤーを外付けハードディスクとして認識します。

3 「HD30GA9」フォルダを開く。

エクスプローラから「**マイ コンピュータ**」を開き「**HD30GA9**」をダブルクリックして操作します。

プレーヤーを外付けハードディスクとして使うときは、不用意にフォーマット（初期化）したり、フォルダを削除したりしないようにご注意ください。
万が一プレーヤーを初期化したりフォルダを削除してしまったときはファームウェアを修復してください。
✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「お買い上げ時の状態に戻す」 →35

POINT：

オーディオデータを削除したときは、プレーヤーと［Kenwood Media Application］でライブラリなどの内容が一致しません。この場合は、下記の操作を行いこれらの内容を同じにする必要があります。

✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「ライブラリを更新する」 →27

✍ ［Kenwood Media Application］取扱説明書　「同期フォルダを設定／転送をする」 →28

ファームウェアのアップデート

アップデートについては、「FAQ およびバージョンアップ情報」にてご案内しております。
URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

用語解説

MP3

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約 1/10 から 1/12 の圧縮率が得られます。

WAV

Windows の標準的な非圧縮音声形式です。

WMA（Windows Media Audio）

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

タグ情報

タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどオーディオファイルに書き込まれている情報です。

DRM（Digital Rights Management）

音声や映像データの複製を制限し、デジタルデータの著作権を保護します。

KLS（Kenwood Lossless）

ケンウッド独自の可逆圧縮方式です。データの欠落が全く起こらないため、使用時には圧縮前のデータに完全復元できます。MP3 等の非可逆圧縮方式に比べて圧縮率は低くなります。

Supreme（サプリーム）

オーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し補間することで、リアルなサウンドを蘇らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

メッセージ表示の一覧

表示	対策
オーディオデータがありません	ライブラリを更新してください。 ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書 「ライブラリを更新する」 →27
オーディオデータが壊れています	再生しようとしているオーディオデータが壊れています。または、ビットレートが対応範囲外です。「Kenwood Media Application」または「Windows Media Player」を使用して、オーディオデータを転送しなおしてください。 ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書 「オーディオデータをプレーヤーに転送する」 →17 「「Windows Media Player」を使用するとき」 →32
NO SYSTEM FOUND ON HDD	プレーヤー内蔵のハードディスクのファームウェアが削除されていたり壊れているため、プレーヤーが起動できません。「**お買い上げ時の状態に戻す**」の手順でファームウェアを修復してください。 ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書 「故障かな…？と思ったら」 →35
充電してください RECHARGE BATTERY	内蔵電池を充電してください。 ✍「内蔵電池を充電する」 →14
ファイル数が制限を越えています	項目またはファイル数を減らしてください。 １つの項目の中に表示または再生できる項目またはオーディオデータの数は、最大 999 個までです。
予期せぬエラー 何かボタンを押すとリセットします	何かボタンを押してリセットしてください。
これ以上お気に入りへ追加できません。	「**お気に入り**」には、最大 50 件まで登録できます。「**お気に入り**」から削除してください。 ✍「「お気に入り」に登録する」 →30
これ以上ごみ箱へ捨てられません	「**ごみ箱**」には、最大 50 件まで入れることができます。「**ごみ箱**」から削除してください。 ✍「「ごみ箱」に入れたオーディオデータを削除する」 →33
BATTERY スイッチが OFF です 充電できません	BATT.（バッテリー） ON（オン）/OFF（オフ） スイッチを「ON（オン）」側にスライドする。 ✍「内蔵電池を充電する」 →14

故障かな…？と思ったら

症状	対策
電源がはいらない、ボタンを押しても操作できない。	BATT. ON/OFF スイッチが「OFF」になっている。BATT. ON/OFF スイッチを「ON」側にスライドしてください。
	内蔵電池の残量が無くなっている。AC アダプターを接続して、内蔵電池を充電してください。 ✍「内蔵電池を充電する」 →14
	ホールド機能がオンになっている。HOLD スイッチを戻し、ホールド機能を解除してください。 ✍「各部のなまえと働き」 →9
	パソコンと接続している。プレーヤーをパソコンに接続しているときは、プレーヤーの操作はできません。
充電しても直ぐに残量がなくなる	内蔵電池が劣化している。新しい内蔵電池に交換する。 （内蔵電池の交換については、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口へご依頼ください）
再生時にノイズが混ざる。または音が飛ぶ	再生しているオーディオデータのサンプリング周波数とビットレートの組み合わせがプレーヤーが再生できる範囲外の可能性があります。オーディオデータをご確認の上、再生可能なサンプリング周波数とビットレートの組み合わせで再度リッピングを行い、「Kenwood Media Application」または Windows Media Player を使用して音楽ファイルを転送しなおしてください。 ✍「サンプリング周波数とビットレートの組み合わせについて」 →48 ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書「オーディオデータをプレーヤーに転送する」→17
再生できない	オーディオデータがない。PC アプリケーションソフトウェアを使い、オーディオデータをプレーヤーに転送してください。 ✍［Kenwood Media Application］取扱説明書「オーディオデータをプレーヤーに転送する」→17
音が聞こえない	ヘッドホンが正しく接続されていない。ヘッドホンと本体の接続を確認してください。 ✍「オーディオデータを再生する」 →16
	音量の調節が最小になっている。音量を調節してください。 ✍「音量の調節」 →19
充電できない	BATT. ON/OFF スイッチが「OFF」になっている。BATT. ON/OFF スイッチを「ON」側にスライドする。 ✍「内蔵電池を充電する」 →14
	正しく接続されていない。AC アダプター、電源コードと本体の接続を確認してください。 ✍「内蔵電池を充電する」 →14
	使用温度の範囲をはずれている。使用温度の範囲内で充電してください。 ✍「使用上のお願い」 →4
AC アダプターを接続中に充電中の表示が消える	プレーヤーの温度上昇を制限するために、自動的に充電を中止している。 故障ではありません。しばらくすると充電が再開されます。
パソコンがプレーヤーを認識しない	パソコンと正しく接続されていない。パソコンとプレーヤーの接続を確認する。 ✍「内蔵電池を充電する」 →14 プレーヤーの電源がオフになっている。電源をオンにする。 ✍「電源を入れる／切る」 →16

■ リセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。

1 本体から AC アダプターを抜く。

2 BATT. ON/OFF スイッチをいったん「OFF」にし、5秒程度たってから再度「ON」にする。

BATT. ON/OFF スイッチを「OFF」側にスライドにすると、以下の設定が初期値に戻ります。

- タイマー設定
- 日付と時刻

POINT：

プレーヤーをリセットしても内蔵ハードディスクのオーディオデータなどは消去されません。

定格

内蔵電池 .... リチウムイオン充電池
質量（重量）... 約 140 g
外形寸法
　幅×高さ×奥行［本体寸法］
　.................................... 61 mm × 104 mm × 17 mm
　幅×高さ×奥行［最大外形寸法］
　.............................. 61 mm × 104.2 mm × 17.6 mm
オーディオ形式：
　MP3
　WMA（Windows Media Audio）
　WAV（PCM）
　KLS（Kenwood Lossless）
記録媒体（内蔵ハードディスク）*1．1.8 インチ、30 GB
最大収録時間／曲 *2 .... 約 1,000 時間／ 約 15,000 曲
連続再生時間 *3
　WMA（64kbps）... 約 24 時間
　MP3（128kbps）....................................... 約 24 時間
インターフェイス ....USB 2.0 ／ USB 1.1
ヘッドホン出力 .... 6 mW + 6 mW （16 Ω）
液晶ディスプレイ *4
　........... 2.2 型 QVGA 低温ポリシリコン TFT カラー液晶

POINT：
*1 1GB を 10 億バイトで計算した数値です。実際のフォーマットされた容量は、表記の容量より少なくなります。
*2 64 kbps の WMA 形式で 1 曲約 4 分の場合。
*3 ディスプレイのバックライト消灯およびSupreme（サプリーム）機能オフ時。0.1mW+0.1mW 出力時（16Ω）。（これらの数値は参考値であり、保証する値ではありません。）
*4 液晶モニターは、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示（画素）が存在することがありますが、故障ではありませんあらかじめご了承ください。

AC アダプター（AC-050150A）：
電源 .... AC100-240V （50/60 Hz）
定格入力容量 0.2A 13W
定格出力 DC5V 1.5A

本製品は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

■ サンプリング周波数とビットレートの組み合わせについて

プレーヤーで再生できるオーディオデータの、サンプリング周波数とビットレートの組み合わせは、下記のとおりになります。これ以外の組み合わせのオーディオデータについては、正常に再生できない場合があります。

MP3

サンプリング周波数	22.05/44.1/48kHz
ビットレート	32kbps ～ 320kbps

WMA（Windows Media Audio）

サンプリング周波数	44.1kHz
ビットレート	48kbps ～ 192kbps

WAV（PCM）

サンプリング周波数	22.05/44.1kHz
ビット数	16 ビット

KLS（Kenwood Lossless）

サンプリング周波数	22.05/44.1kHz
ビット数	16 ビット

POINT：
VBR(Variable Bit Rate：可変ビットレート）のオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

製品に関する一般的なご質問を弊社Webページにて公開しております。
お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。
URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

コンピュータとの接続および添付アプリケーションについてのお問い合わせ、修理のご相談は、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
　電話 （0570）010-114（ナビダイヤル）　携帯・PHSでのご利用は（045）933-5133
　FAX （045）933-5553
　住所 〒226-8525　横浜市緑区白山 1-16-2
アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口にご相談ください。（ケンウッドサービス窓口のお問い合わせ先は、クイックスタートマニュアルをご覧ください。）

Kenwood Media Application

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、クイックスタートマニュアル、プレーヤー取扱説明書および［Kenwood Media Application］取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
安全のため、必ずクイックスタートマニュアルの『安全上のご注意』をお読みのうえでご使用ください。

製品に関する一般的なご質問を弊社Webページにて公開しております。
お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。

URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

目次

POINT：

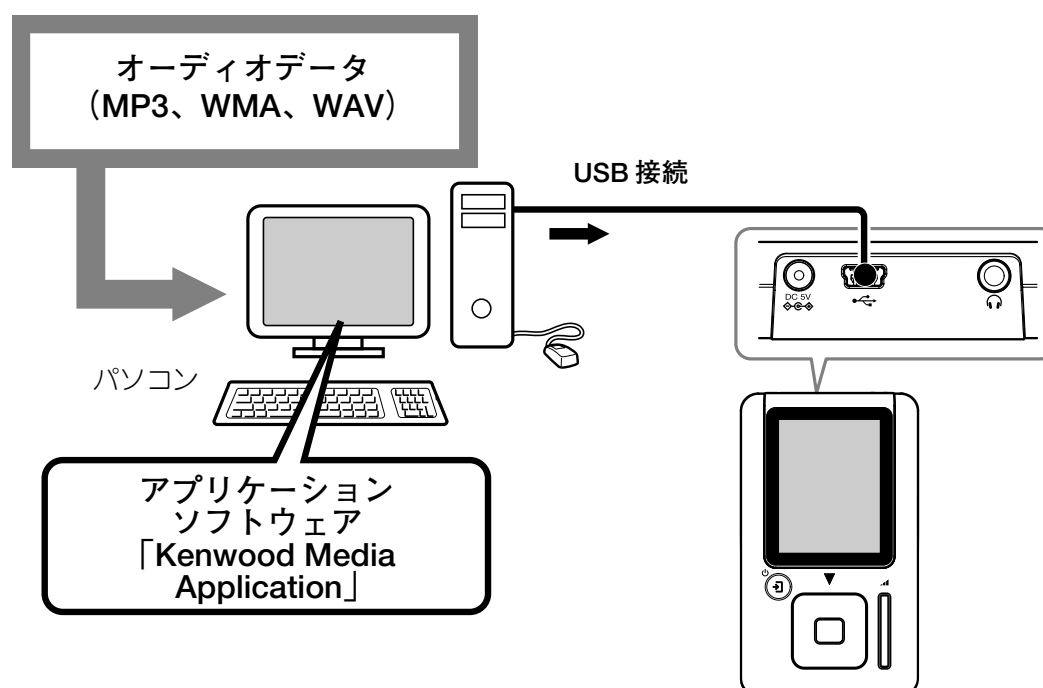
* KLS（Kenwood Lossless）形式のオーディオデータを再生できるプレーヤーは以下のモデルです。
（2005年11月現在）
HD30GA9

アプリケーションソフトウェア「Kenwood Media Application」について

「Kenwood Media Application」は、プレーヤーと組み合わせて使うアプリケーションソフトウェアです。

- このソフトウェアの一部もしくは全部を、複製もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
- このソフトウェアを使用したことによって生じた使用者もしくは第三者の損害に関しては､当社は一切その責任を負いかねます。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ パソコンのオーディオデータの転送

パソコン内のオーディオデータをプレーヤーに転送することができます。
WAV ファイルは、KLS（Kenwood Lossless）形式に変換し転送することができます。
✍「**KLS（Kenwood Lossless）形式に変換して転送する**」 ➝31

■ ライブラリの管理

- パソコン内やプレーヤーのハードディスク内に保存されているオーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を表示することができます。
- パソコン内やプレーヤーのハードディスク内に保存されているオーディオデータの削除や曲情報の編集をすることができます。

  ✍「**オーディオデータをプレーヤーから削除する**」 ➝18

  ✍「**曲情報を編集する**」 ➝24
- プレイリストの作成、再生順の並べ替えや削除など各種編集ができます。

  ✍「**プレイリストの作成**」 ➝20

POINT：

- 「**Kenwood Media Application**」､「**Windows Media Player**」を使ってプレーヤーに転送したオーディオデータは、暗号化処理されているので、このプレーヤー以外では再生できません。
- 「**Kenwood Media Application**」､「**Windows Media Player**」以外を使ってプレーヤーに転送したオーディオデータは再生できません。

アプリケーションソフトウェア「Kenwood Media Application」について

動作環境

■ **オペレーティングシステム（OS）：**
Microsoft Windows XP Professional
Microsoft Windows XP Home Edition
Microsoft Windows 2000 Professional

■ **パソコン：**
IBM PC/AT 互換機

■ **CPU：**
Intel Pentium II 300MHz 以上 (Pentium III 1GHz 以上を推奨)

■ **メモリ：** 128MB 以上

■ **ハードディスク空き容量：**
オーディオデータを除き 160MB 以上

■ **USB 端子（USB 2.0 ／ USB 1.1）**

■ **「Windows Media Player 9」または「Windows Media Player 10」**

POINT：
- 上記に適合するすべての環境について動作保証するものではありません。
- 上記 OS がプリインストールされたパソコンをご使用ください。OS をアップグレードしたパソコンについては動作保証はいたしません。
- 自作パソコンでの動作保証はいたしません。
- 「**Kenwood Media Application**」をご使用になるには、管理者（Administrator（アドミニストレータ））の権限が必要です。
- セキュリティシステムの処理上､他のセキュリティシステムを採用しているアプリケーションと同時に使用しないでください。アプリケーションのフリーズ、システムの再起動などの問題が発生する場合があります。

商標について

- Supreme（サプリーム）は、株式会社ケンウッドの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBM および PC/AT は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Pentium および Intel は、Intel Corporation の米国または他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader は、Adobe Systems Incorpotated （アドビシステムズ社）の商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

- 本ソフトウェアの一部分に、（株）東芝が開発した技術が含まれています。

パソコンとプレーヤーを接続する

プレーヤーにACアダプターを接続したうえで、パソコンとプレーヤーをUSBケーブルで接続してください。ACアダプターを接続していないと電池の消耗によりプレーヤーの内蔵ハードディスクに記録されているデータが破壊されることがあります。

プレーヤーに付属のACアダプター「AC-050150A」(JEITA規格・極性統一型プラグ付き)をご使用ください。

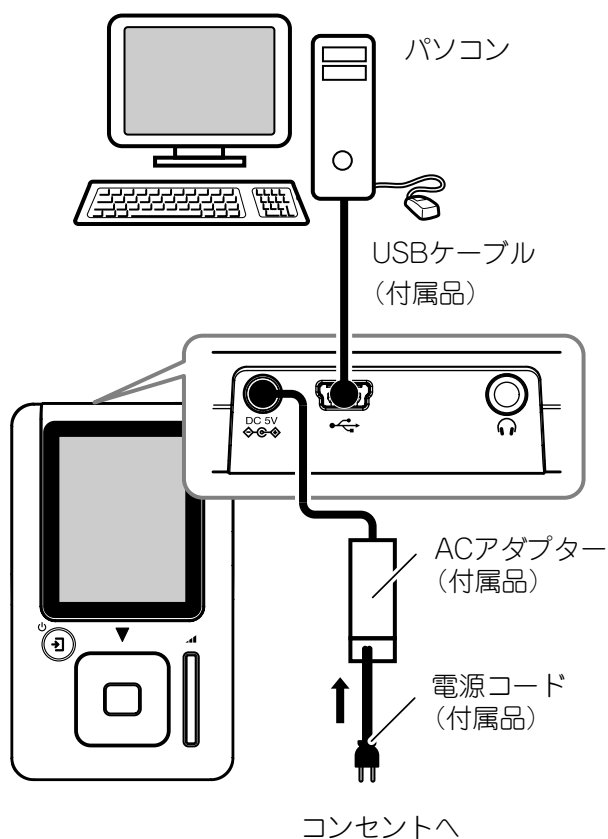
1 パソコンを起動する。

2 プレーヤーにACアダプター(付属品)を接続する。

✍ プレーヤー取扱説明書　「内蔵電池を充電する」　→14

3 ⏻／⇥ ボタンを押しプレーヤーの電源をオンにする。

4 USBケーブル(付属品)を使って、パソコンとプレーヤーを接続する。

接続中は、ディスプレイに「USBマーク」と表示します。このときはプレーヤーの操作はできません。

重要：

必ずACアダプターを接続したうえで、パソコンとプレーヤーを接続してください。

アプリケーションソフトウェアをインストールするときやパソコンからプレーヤーにデータを転送しているときは、ACアダプターやUSBケーブルを抜いたりしないでください。

USB接続中はプレーヤーのBATT.(バッテリー) ON(オン)/OFF(オフ)スイッチを「OFF(オフ)」にしないでください。データが破壊されることがあります。

POINT：

USBハブを使用してパソコンと接続した場合の動作は保証できません。

アプリケーションソフトウェアのインストール

「Kenwood Media Application」、「Windows Media Player 用プラグイン」、プレーヤー取扱説明書および［Kenwood Media Application］取扱説明書をインストールします（取扱説明書の PDF を見るには、別途「Adobe Reader」をインストールしてください）。
インストールするときは、お使いのパソコンの動作環境を確認してください。✍「動作環境」 →4

重要：

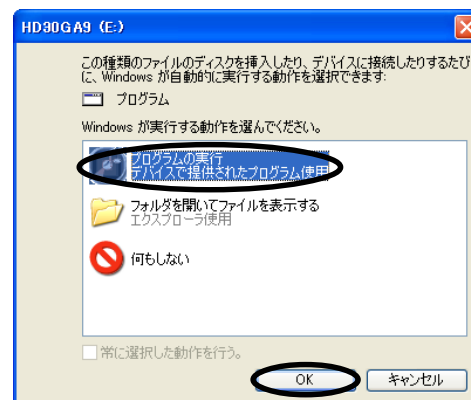
インストールの際は、管理者権限（Administrator）のユーザーでログインして実行し、他のアプリケーションを終了してください。

パソコンに「Kenwood Media Application」がすでにインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールしてください。
✍「アプリケーションソフトウェアのアンインストール（削除）」 →9

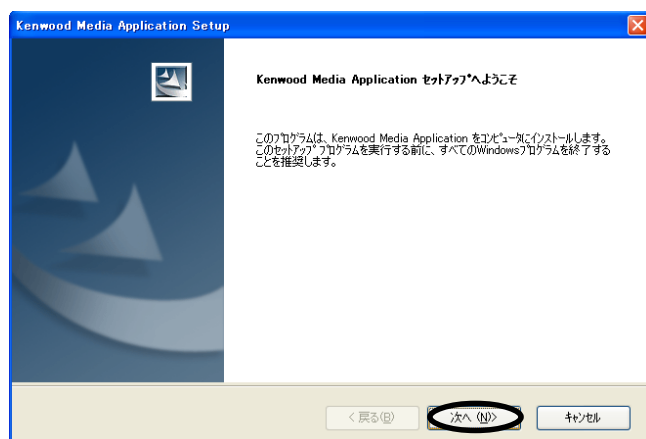
1 「パソコンとプレーヤーを接続する」（→5）の手順 1 ～手順 4 の操作を行う。

パソコンにはじめてプレーヤーを接続すると、自動的にアプリケーションソフトウェアのインストーラが起動します。

Microsoft Windows XP Professional ／
Microsoft Windows XP Home Edition のときは：

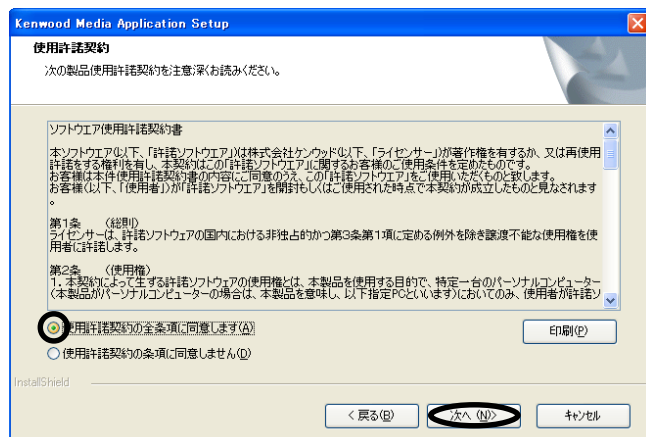
「プログラムの実行」を選び、「OK」ボタンをクリックしてください。

インストーラが起動しないときは：

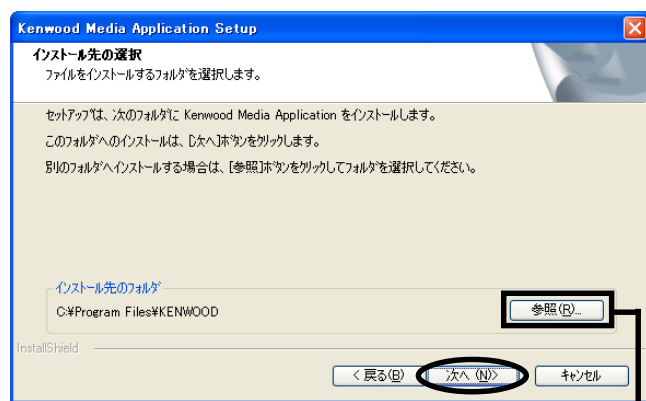
エクスプローラから「マイコンピュータ」 ➡ モデル名のついたドライブ * を開き「Install（インストール）」をダブルクリックしてください。
* 例：プレーヤーが HD30GA9 の場合、ドライブ名は「HD30GA9」になります。

2 インストーラの初期画面で「次へ」をクリックする。

「使用許諾契約」画面を表示します。

次ページにつづく

アプリケーションソフトウェアのインストール

3 「使用許諾契約」画面の内容をよく読み同意のうえ「使用許諾契約の全条項に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

インストール先の選択画面を表示します。
お使いのパソコンの環境設定により表示される内容は異なる場合があります。

4 インストール先を指定し「次へ」をクリックする。

変更する場合は「**参照**」をクリックし、インストール先を設定してください。指定したフォルダに上記の内容をインストールします。

インストール先の変更がないときは「Program Files」内に「**KENWOOD**」フォルダを作成します。

「KENWOOD」フォルダにインストールするもの：

■ **「App」フォルダ内：**
アプリケーションソフトウェアの起動に必要なファイルを格納します。

■ **モデル名のついたフォルダ内（例 プレーヤーがHD30GA9の場合、フォルダ名は「HD30GA9」になります。）：**

● **「BACKUP」フォルダ：**
インストーラを起動するための実行ファイル「**Install**」、プレーヤーのファームウェアやインストーラーのバックアップを格納します。

重要：「BACKUP」フォルダの内容は、他のデバイス（CD-RまたはMOなど）に保存しておくことをお薦めします。

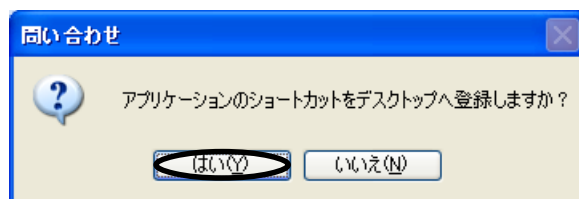
● **「MANUAL」フォルダ：**
取扱説明書のPDFファイルを格納します。

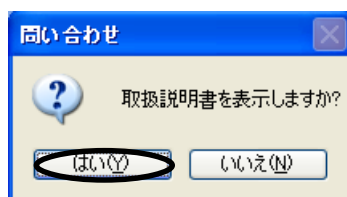
5 「インストール」をクリックする。

インストールを開始します。

次ページにつづく

アプリケーションソフトウェアのインストール

6 ショートカットアイコンをデスクトップに登録するときは「はい」をクリックする。

「はい」を選ぶと、デスクトップにショートカットアイコンを作成します。

7 セットアップが終了したときに取扱説明書を表示するときは「はい」をクリックする。

「はい」を選ぶと、セットアップ終了時に取扱説明書を表示します。

- 取扱説明書を表示するには「Adobe Reader」が別途必要です。

8 手順７で「はい」をクリックしたときは、取扱説明書を表示します。

9 インストールが終了したら、「完了」をクリックする。

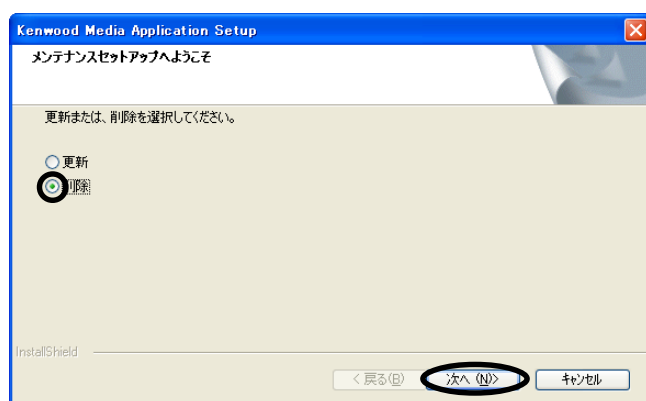
再起動を促す画面が表示されたときは再起動します。（お使いのパソコンの環境環境により表示される画面が異なります）。

アプリケーションソフトウェアのアンインストール（削除）

ソフトウェアが不要になった場合は、プログラムを削除します。ソフトウェアを使用しているときは、ソフトウェアを終了してからアンインストールしてください。

1 ［スタート］➡［すべてのプログラム］（または［プログラム］）➡［KENWOOD］➡［Kenwood Media Application］➡［更新と削除］をクリックする。

メンテナンスセットアップ画面を表示します。

2 「削除」を選び、「次へ」をクリックする。

インストール時に、「KENWOOD」フォルダに格納されたプログラムやファイルおよびOSに書き込まれたレジストリを削除します。

3 アンインストールが終了したら、「完了」をクリックする。

再起動を促す画面が表示されたときは再起動します。（お使いのパソコンの環境設定により表示される画面が異なります）。

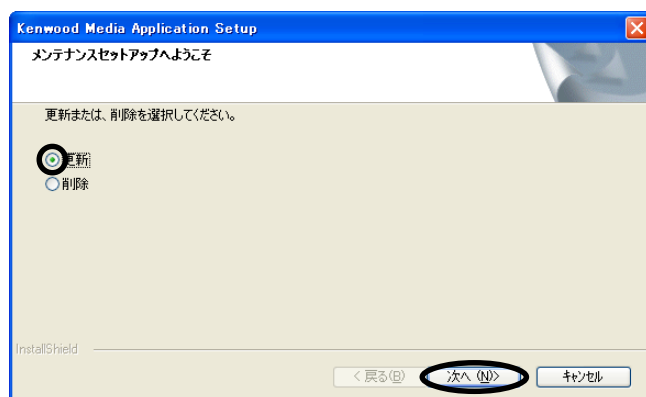
- アンインストールが正常に終了しても、モデル名のついたフォルダ内（例 プレーヤーがHD30GA9の場合、フォルダ名は「**HD30GA9**」になります。）に以下のバックアップファイルが残ります。完全に削除するには、エクスプローラーなどでこのフォルダを削除してください。
- 「**BACKUP**（バックアップ）」➡「**KWSYSTEM**（システム）」フォルダにファームウェアが格納されています。プレーヤーのファームウェアを復旧するときに必要です。
- 「**BACKUP**（バックアップ）」➡「**Install**（インストール）」フォルダにインストーラーのバックアップが格納されています。再インストールするときには、「**BACKUP**（バックアップ）」フォルダ内の実行ファイル「**Install**（インストール）」をダブルクリックしてください。

アプリケーションソフトウェアの更新

アプリケーションソフトウェアの動作が不安定なときに更新（上書きインストール）することができます。

1 ［スタート］ ➡ ［すべてのプログラム］（または［プログラム］） ➡ ［KENWOOD］ ➡ ［Kenwood Media Application］ ➡ ［更新と削除］をクリックする。

メンテナンスセットアップ画面を表示します。

2 「更新」を選び、「次へ」をクリックする。

アプリケーションソフトウェアを更新します。

3 「アプリケーションソフトウェアのインストール」（→7）の手順5～手順9の操作をする。

アプリケーションソフトウェアのアップデート

アップデートについては、「FAQ およびバージョンアップ情報」にてご案内しております。
URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

オーディオデータをプレーヤーに転送する手順

パソコン上の MP3、WMA、WAV のオーディオデータを「Kenwood Media Application」を使って、プレーヤーに転送します。音楽 CD をパソコンに取り込むには、「Windows Media Player」などを使用します。

1 パソコンとプレーヤーを接続する。 →5

2 「Kenwood Media Application」を起動する。 →13

3 オーディオデータをプレーヤーに転送する。 →17

4 パソコンからプレーヤーを取り外す。 →12

POINT：
- 「Kenwood Media Application」では、「WMA Professional」、「WMA Lossless」、「WMA Voice」フォーマットのオーディオデータは転送することは出来ません。「Windows Media Player」を使って転送してください。
- 著作権保護されたオーディオデータ（DRM）については、「Windows Media Player」を使って転送してください。
  ✍「「Windows Media Player」を使用するとき」 →32

■「Windows Media Player」でオーディオデータを取り込む場合のお願い

音楽 CD をパソコンに取り込むには、「Windows Media Player 9」または「Windows Media Player 10」などを使用します。このときには、以下の設定をしてください。

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする。

2 「音楽の取り込み」タブをクリックする。

「Windows Media Player 9」のときは、「音楽の録音」をクリックします。

3 「取り込んだ音楽を保護する」のチェックを外す。

「Windows Media Player 9」のときは、「保護された音楽を録音する」のチェックを外す。

パソコンからプレーヤーを取り外す

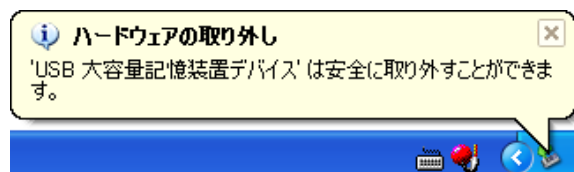
パソコンからプレーヤーを取り外すには、以下の手順で行います。

取り外す前にすべてのアプリケーションソフトウェアを終了してください。

■ Microsoft Windows XP Professional／Microsoft Windows XP Home Editionのとき：

1 タスクバーの 「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ（ ）を安全に取り外します」をクリックする。

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。

重要：
お使いのパソコンの環境設定により1度の操作では、プレーヤーを取り外すことができないときがあります。
この場合は、もう一度手順1～手順2までを操作して、「ハードウェアの取り外し」画面をご確認のうえ手順3の操作をしてください。

3 プレーヤーから USB ケーブルを抜く。

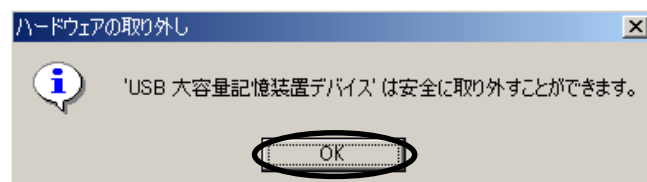
■ Microsoft Windows 2000 Professionalのとき：

1 タスクバーの 「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をクリックする。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ（ ）を停止します」をクリックする。

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。

重要：お使いのパソコンの環境設定により1度の操作では、プレーヤーを取り外すことができないときがあります。この場合は、もう一度手順1～手順2までを操作して、「ハードウェアの取り外し」画面をご確認のうえ手順3の操作をしてください。

3 「OK」をクリックする。

4 プレーヤーから USB ケーブルを抜く。

POINT：
- 表示画面はお使いのパソコンの環境設定により異なります。
- 詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をお読みください。

「Kenwood Media Application」を起動する

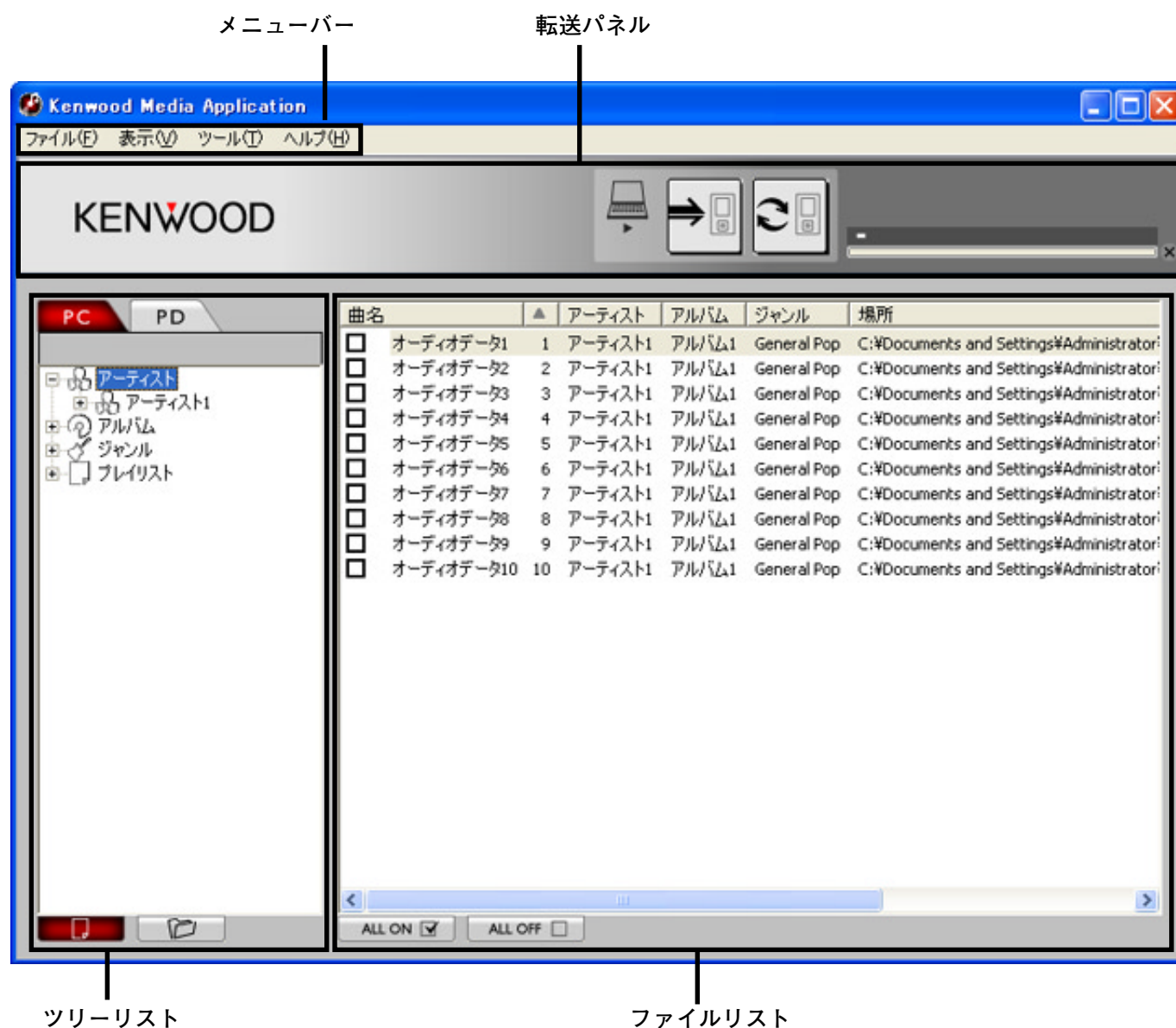
起動のしかた

「Kenwood Media Application」をご使用になるには、管理者（Administrator）の権限が必要です。

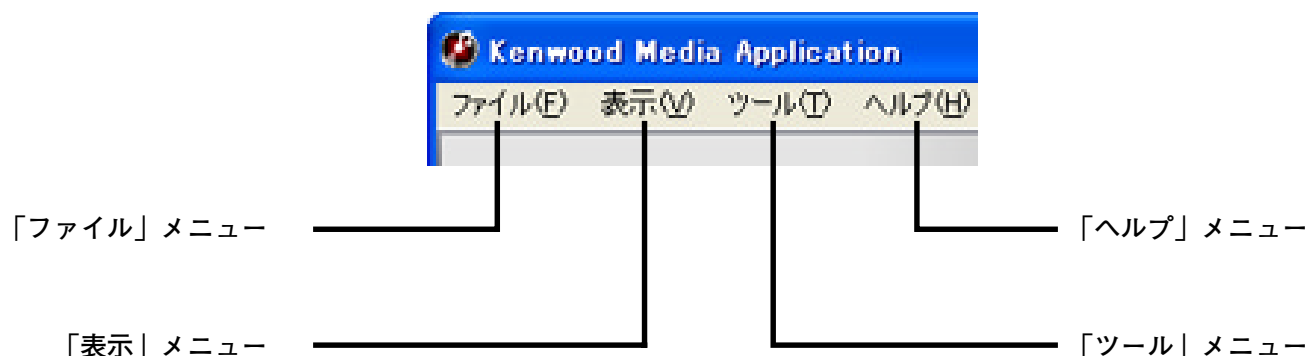
1 デスクトップのショートカットアイコン をダブルクリックする。

「Kenwood Media Application」のメイン画面を表示します。

「スタートメニュー」➡「すべてのプログラム」➡「KENWOOD」➡「Kenwood Media Application」➡「Kenwood Media Application」をクリックしても「Kenwood Media Application」を起動することができます。

メイン画面

「Kenwood Media Application」を起動する

メイン画面

■ メニューバー

「ファイル」メニュー

「新規プレイリスト」 →20
新しくプレイリストを作成します。（キーボードの［**Ctrl**］+［**N**］を入力しても操作できます）

「プレイリスト再生順編集」 →21
プレイリスト再生順を編集できます。

「お気に入りをプレイリストに変換」 →23
プレーヤーで登録した「**お気に入り**」の内容をプレイリストに変換します。

「削除」
選択した項目を削除します。（キーボードの［**Del**］を入力しても操作できます）

「名前の変更」
「**プレイリスト**」名を変更します。

「終了」
「**Kenwood Media Application**」を終了します。

「表示」メニュー

「表示モード」
ライブラリビューとフォルダビューを切り換えます。
「ライブラリビュー」: ライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）をツリー表示します。
「フォルダビュー」:
フォルダをツリー表示します。

「ドライブの選択」
表示するドライブを選びます。

「1つ上の階層へ」
フォルダの階層を1つ上に移動して表示します。

「最新の状態に更新」
フォルダやファイルの表示を最新の状態に更新します。（キーボードの［**F5**］を入力しても操作できます）

「ツール」メニュー

「ライブラリ更新」 →27
パソコン内またはプレーヤーのライブラリを最新の状態に更新します。（キーボードの［**Ctrl**］+［**F5**］を入力しても操作できます）

「同期」 →29
同期フォルダの内容をプレーヤーにフォルダごと転送します。（キーボードの［**Ctrl**］+［**F4**］を入力しても操作できます）

「PC から PD への転送」 →17
プレーヤーにオーディオデータを転送します。

「曲情報編集」 →24
曲情報やジャケット画像を編集します。

「ジャケット写真一括設定」 →26
ジャケット画像をアルバム単位で設定できます。

「オプション」 →28 →30 →31
同期フォルダを指定したり、転送動作の設定をします。

「ヘルプ」メニュー

「バージョン情報」
バージョン情報を表示します。

「Kenwood Media Application」を起動する

メイン画面

■ クイックメニュー

項目（アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダ）またはオーディオデータを選んで右クリックすると、クイックメニューを表示します。

項目（アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダ）を選んだとき

「削除」
「名前の変更」
「新規プレイリスト」
「再生順編集」
「プレイリストの転送」
「PC から PD への転送」
「ジャケット写真一括設定」

オーディオデータを選んだとき

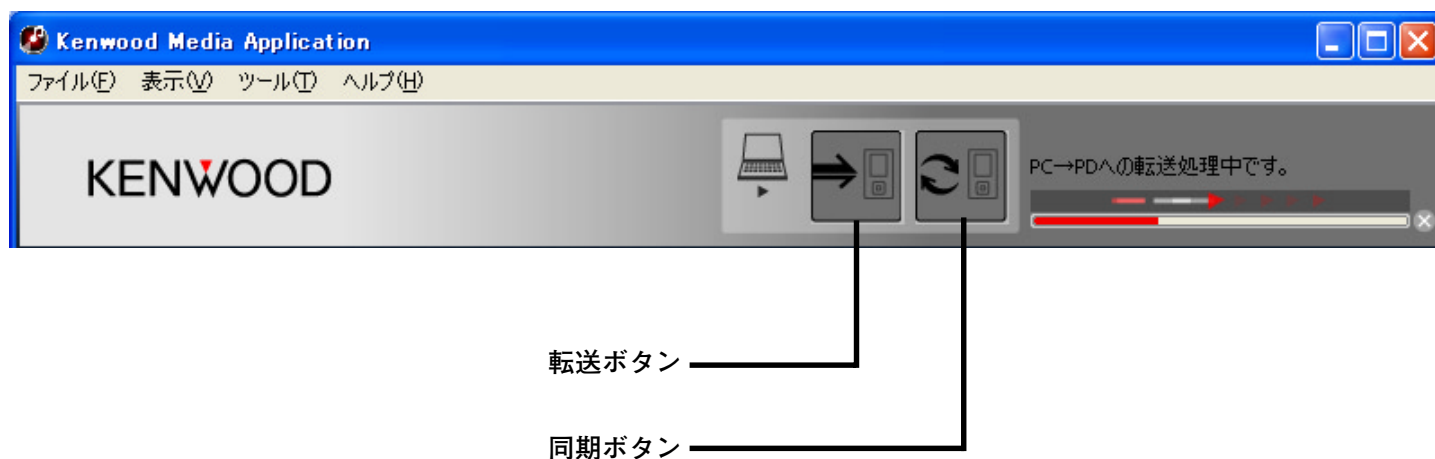
「曲情報編集」
「削除」
「プレイリストへの追加」
「PC から PD への転送」

POINT：
ツリーリストの状態（ライブラリビューまたはフォルダビューに切り換えたとき）、右クリックするときに選択した項目（アーティスト、アルバム、ジャンル、フォルダ）またはオーディオデータ、プレイヤーの接続状況などにより、クイックメニューに表示しない／選択できない操作があります。

以下を除き、メニューバーから選んだメニュー項目と同じ操作をします。

「プレイリストの転送」
選んだプレイリストをプレーヤーに転送します。 →23

「プレイリストへの追加」
選んだオーディオデータをプレイリストに追加します。 →20

■ 転送パネル

ライブラリを見る

オーディオデータのライブラリ（アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリスト）を見ることができます。

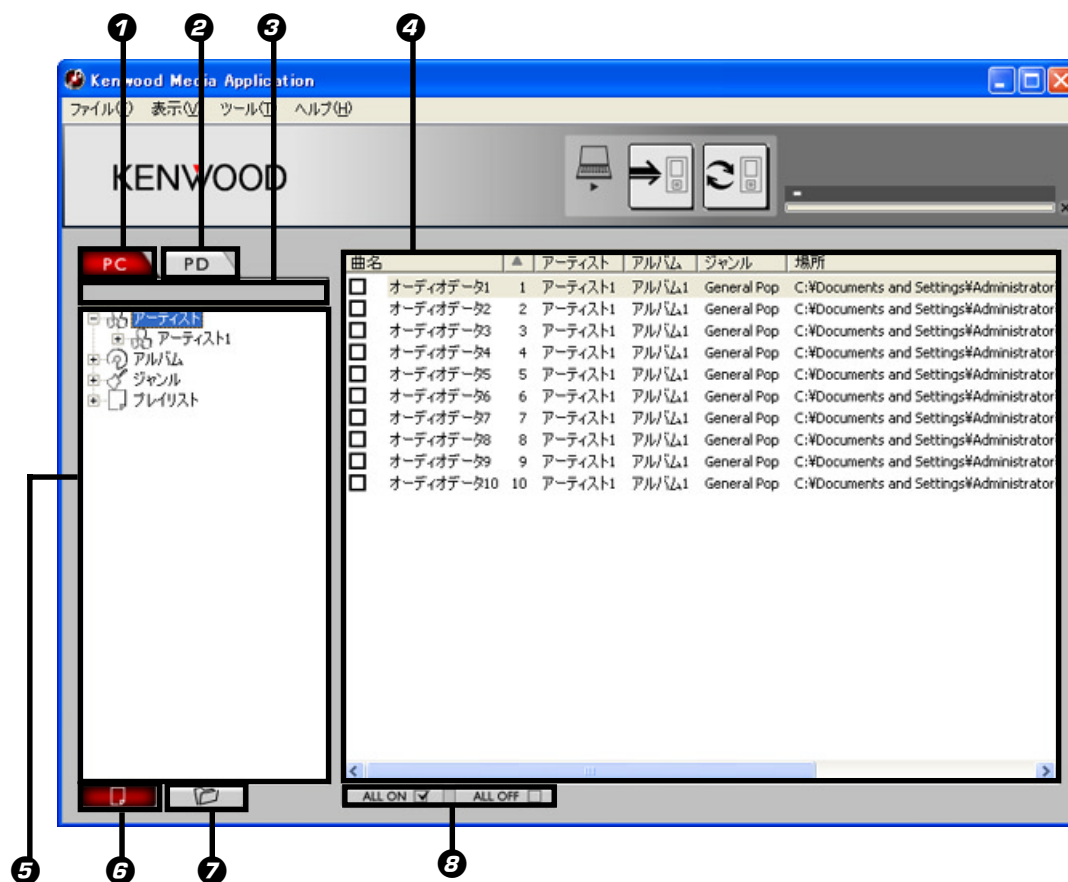
1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5
✍「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13

2 「PC」タブをクリックする。

- ライブラリを利用するには、あらかじめライブラリ用のデータベースを作成する必要があります。

✍「ライブラリを更新する」 → 27

- 「PD」タブをクリックすると、プレーヤーの内蔵ハードディスクのライブラリを表示します。

❶「PC」タブ
❷「PD」（Portable Device：ポータブルデバイス）タブ
❸ドライブ選択ボタン
❹ファイルリスト
フォルダビューを選んだときは、ファイル名、フォルダ名、ファイルサイズおよび更新した日時を表示します。
ライブラリビューを選んだときは、曲名、トラック番号、アーティスト、アルバム、ジャンルおよびファイルの格納場所を表示します。
❺ツリーリスト
❻ライブラリビューボタン
ライブラリをツリー構造で表示します。
❼フォルダビューボタン
フォルダをツリー構造で表示します。
❽「ALL ON」、「ALL OFF」ボタン

POINT：

- ツリーリストに表示するドライブやフォルダアイコンの左側にある「＋」または「－」をクリックすることで、1つ下の階層にあるファイルやフォルダについて、表示／非表示を選ぶことができます。
- 「表示」メニューの「フォルダビュー」を選ぶと、パソコンやプレーヤー内のツリーリストをそのまま表示します。

オーディオデータをプレーヤーに転送する

「Kenwood Media Application」、「Windows Media Player」を使ってプレーヤーに転送したオーディオデータ（MP3、WMA、WAV）は、暗号化処理されているので、このプレーヤー以外では再生できません。また、「Kenwood Media Application」、「Windows Media Player」以外を使ってプレーヤーに転送したオーディオデータは再生できません。

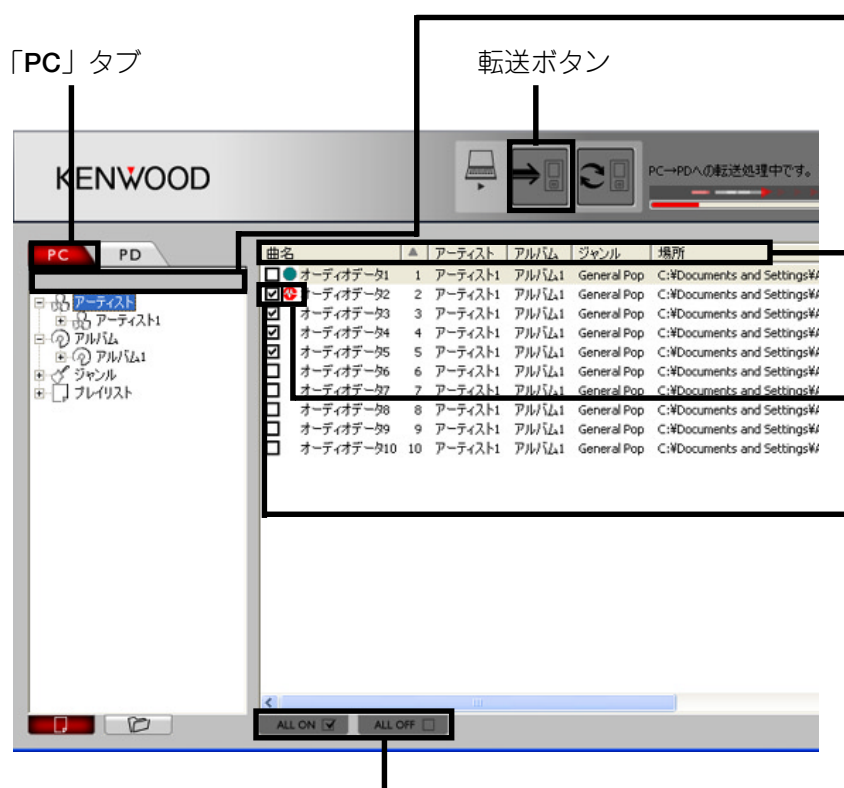
著作権保護されたオーディオデータ（DRM）については、「Windows Media Player」を使って転送してください。

✍ 「「Windows Media Player」を使用するとき」 → 32

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍ 「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5
✍ 「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13

2 ツリーリストから転送するライブラリやフォルダをクリックする。

パソコン内の各ライブラリまたはプレイリストに記録されているオーディオデータをファイルリストに表示します。

ドライブ選択ボタン：
「PC」タブで選んだデバイスに複数のドライブがあるときに、ドライブを選ぶことができます。

表示された項目を選びクリックするたびに、リストの表示内容を降順／昇順に並べ換えることができます。（ツリーリストでプレイリストを選択したときは、操作できません）

オーディオデータを転送すると転送状況を示すアイコンに切り換わります。

ボックスをクリックすると、オーディオデータに☑マークが付きます。☑マークがついているときにクリックしたときは、☑マークを外します。

「ALL ON」をクリックすると、ファイルリストに表示されたすべてのオーディオデータに☑マークがつきます。
「ALL OFF」をクリックすると、オーディオデータに付いている☑マークが外れます。

3 転送するオーディオデータに☑マークを付けて、転送パネルの転送ボタンをクリックする。

ファイルリストに☑マークを付けたオーディオデータをプレーヤーに転送します。（フォルダビューでフォルダに☑マークを付けたときは、フォルダごと転送できます。）

重要：
オーディオデータをプレーヤーに転送しているときには、USB ケーブルは絶対に抜かないでください。

以下の方法でも操作できます：

- 「ツール」メニューの「PC から PD への転送」をクリックする。
- オーディオデータを選んだ状態で、右クリックすると、クイックメニューを表示します。
  表示されたクイックメニューの「PC から PD への転送」をクリックする。

オーディオデータをプレーヤーに転送する

POINT：

- オーディオデータをファイルリストに表示する順番は、「**曲名**」、「**トラック番号**」、「**アーティスト**」、「**アルバム**」、「**ジャンル**」または「**場所**」の項目でソートすることができます。（ただし、ソート結果を保存することや転送することはできません。また、ツリーリストでプレイリストを選択したときは、操作できません。）
- 暗号化されたオーディオデータのファイル名称には、拡張子「**.KXD**」が付加されます。
- WAV ファイルを KLS(Kenwood Lossless)形式に変換し転送したオーディオデータのファイル名称には、拡張子「**.KLS.KXD**」が付加されます。
  「**WAV ファイルを KLS（Kenwood Lossless）形式に変換して転送する**」 → 31
- プレーヤーに転送したオーディオデータをパソコンにコピーしても（戻しても）、暗号化されたままで元のファイル形式には戻りません。
- 同期機能を使って転送することもできます。
  「**同期フォルダを設定／転送をする**」 → 28
- 「**Kenwood Media Application**」では、「**WMA Professional**」、「**WMA Lossless**」、「**WMA Voice**」フォーマットのオーディオデータは転送することは出来ません。「**Windows Media Player**」を使って転送してください。
- 著作権保護されたオーディオデータ（DRM）については、「**Windows Media Player**」を使って転送してください。
- プレーヤーに転送できるオーディオデータのファイルの形式は以下のとおりです：
  WMA ファイル（拡張子「**.wma**」）
  MP3 ファイル（拡張子「**.mp3**」）ID3 タグは、Ver. 2.2、2.3、2.4 に対応
  WAV ファイル（拡張子「**.wav**」）
- プレーヤーに転送できるオーディオデータのファイル名文字数は最大 77 文字（拡張子除く）までです。

オーディオデータをプレーヤーから削除する

プレーヤー内のオーディオデータを削除します。

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

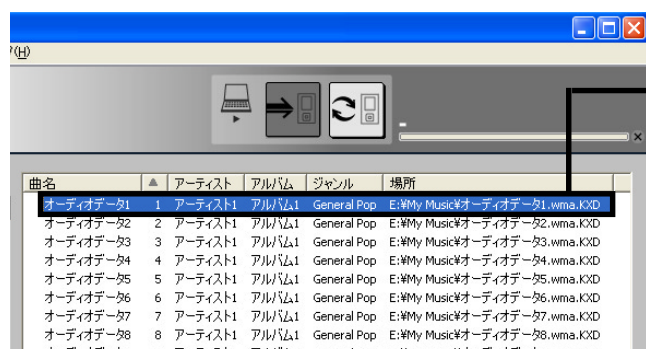
プレーヤー内のオーディオデータを削除する場合は、プレーヤーの電池残量がなくなって電源が切れることのないように、付属の AC アダプタを接続してください。

「**パソコンとプレーヤーを接続する**」 → 5
「「**Kenwood Media Application**」**を起動する**」 → 13

2 「PD」タブをクリックし、ツリーリストから削除するオーディオデータがあるフォルダまたは項目を選ぶ。

パソコンのデータを削除するときは、「**PC**」タブをクリックします。

3 ファイルリストから削除するオーディオデータを選び、「ファイル」メニューの「削除」をクリックする。

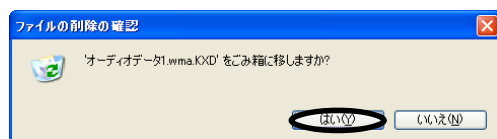
ツリーリストから、項目やフォルダなどを選び、項目やフォルダごとオーディオデータが削除されます。

削除するオーディオデータ

オーディオデータを選択した状態で右クリックし「**削除**」を選ぶまたはキーボードの［**Del**］を押しても、オーディオデータを削除することができます。削除の確認をする画面が表示されます。（ご使用のパソコンの環境設定により表示されない場合があります。）

重要：オーディオデータをプレーヤーから削除しているときには、USB ケーブルは絶対に抜かないでください。

次ページにつづく

オーディオデータをプレーヤーから削除する

4 「はい」をクリックし、オーディオデータを「ごみ箱」に移動させる。

プレーヤーの内蔵ハードディスクの空き容量をふやすには、パソコンの「**ごみ箱**」を空にし、オーディオデータを完全に削除してください。

重要：オーディオデータをプレーヤーから削除しているときには、USBケーブルは絶対に抜かないでください。

5 ライブラリを更新する。

オーディオデータを削除したときは、プレーヤーと「Kenwood Media Application」でライブラリなどの内容が一致しないときがあります。この場合は下記の操作を行うことで、これらの内容を同じにすることができます。

❶「PD」タブをクリックする。
❷「ツール」メニューの「ライブラリの更新」をクリックする。
　エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いたうえで、もう一度更新をしてください。

重要：ライブラリを更新しているときには、USB ケーブルは絶対に抜かないでください。

POINT：
プレイリスト に登録されているオーディオデータを削除したときはプレイリスト内からも削除されます。

エクスプローラを使って削除する

パソコンからプレーヤーに転送したオーディオデータはエクスプローラを使い削除します。

1 パソコンとプレーヤーを接続する。

「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5

2 パソコンのエクスプローラを起動する。

3 モデル名のついたフォルダ（例 プレーヤーがHD30GA9の場合、フォルダ名は「HD30GA9」になります）を開く。

エクスプローラから「**マイコンピュータ**」を開き「モデル名のついたドライブ」をダブルクリックして操作します。

4 削除するフォルダまたはオーディオデータを選び、右クリックして「削除」を選ぶ。

「**フォルダの削除の確認**」または「**ファイルの削除の確認**」画面が表示され、「**はい**」をクリックすると選んだフォルダまたはオーディオデータを削除します。

重要：オーディオデータをプレーヤーから削除しているときには、USBケーブルは絶対に抜かないでください。

5 ライブラリを更新する。

オーディオデータを削除したときは、プレーヤーと「Kenwood Media Application」でライブラリなどの内容が一致しません。この場合は下記の操作を行うことで、これらの内容を同じにすることができます。

❶「Kenwood Media Application」を起動する。
❷「PD」タブをクリックする。
❸「ツール」メニューの「ライブラリの更新」をクリックする。
　エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いたうえで、もう一度更新をしてください。

重要：ライブラリを更新しているときには、USB ケーブルは絶対に抜かないでください。

プレイリストの作成

お好みのオーディオデータ（パソコン側では「MP3」、「WMA」、「WAV」／プレーヤー側では「KXD」データのみ）をプレイリストに登録してプレーヤーに転送し、プレーヤーで設定した再生モードにしたがい再生することができます。

プレイリストの作成／追加

新たに作成したプレイリストやすでにあるプレイリストにオーディオデータを追加できます。

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

プレイリストを変更するときはパソコンとプレーヤーを接続してください。

「パソコンとプレーヤーを接続する」→5
「「Kenwood Media Application」を起動する」→13

2 「PC」タブまたは「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、「ファイル」メニューの「新規プレイリスト」をクリックする。

新たに作成したプレイリストの名称は「**新規プレイリスト**」になります。プレイリスト名は変更することができます。

「プレイリスト名の変更」→22

（最大で999件までプレイリストを作成することができます。）

3 ツリーリストからプレイリストに追加するオーディオデータがあるライブラリを選ぶ。

4 ファイルリストからプレイリストに追加するオーディオデータを選び､右クリックする。

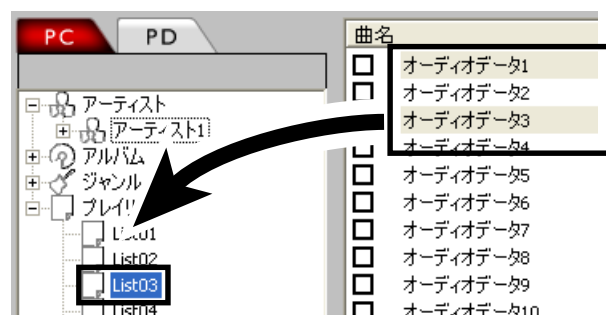
5 表示されたクイックメニューの「プレイリストへの追加」をクリックする。

登録先のプレイリストをプルダウンメニューに表示します。（プレイリストが6件以上あるときは、「**プレイリストへの追加**」から「**その他のプレイリスト**」をクリックすると「**プレイリストの選択**」ダイアログを表示します。）

6 プルダウンメニューから、追加するプレイリストを選ぶ。

「**プレイリストの選択**」ダイアログを表示したときは、プレイリストを選び「**選択**」ボタンをクリックします。

ドラッグ＆ドロップで登録する

手順３でファイルリストからオーディオデータを選び、フォルダツリーのプレイリストにドラッグ＆ドロップして登録することもできます。

プレイリストの作成

POINT：

プレイリストを再生したときは、この操作で登録した順番でオーディオデータを再生します。また、プレイリストの再生順はお好みの順番に並べ替えることができます。

✍「プレイリストの再生順を並べ替える」

プレイリストの再生順を並べ替える

プレイリスト内のオーディオデータの再生順を「トラック番号」、「名前」または「日付」で並べ替えることができます。

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

プレイリストを変更するときはパソコンとプレーヤーを接続してください。

✍「パソコンとプレーヤーを接続する」→ 5
✍「「Kenwood Media Application」を起動する」→ 13

2 「PC」タブまたは「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、再生順を変更するプレイリストを選ぶ。

3 「ファイル」メニューの「プレイリスト再生順編集」をクリックする。

プレイリストを選択した状態で右クリックし「**再生順編集**」を選んでも操作できます。

4 再生順を変更するオーディオデータを選び、移動先にドラッグ＆ドロップする。

「**プレイリスト再生順編集**」ウィンドウを表示します。

5 プレイリストの再生順を変更したら、「OK」をクリックする。

POINT：

オーディオデータを移動するときは、オーディオデータの「**曲名**」上でドラッグし、移動先でドロップをしてください。

プレイリストの編集

プレイリストに登録した内容の削除やプレイリスト名の編集操作ができます。

■ プレイリストを削除する／プレイリストからオーディオデータを削除する：

1 **パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。**

プレイリストを変更するときはパソコンとプレーヤーを接続してください。

「パソコンとプレーヤーを接続する」 →5

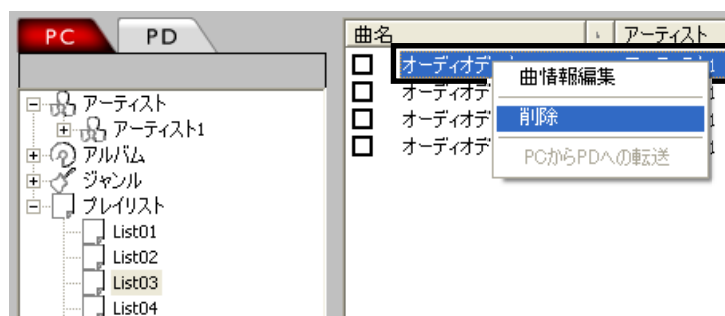
「「Kenwood Media Application」を起動する」 →13

2 **「PC」タブまたは「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、削除するプレイリストまたはオーディオデータが登録されているプレイリストを選ぶ。**

プレイリストを削除するときは、手順 4 の操作に進みます。

3 **ファイルリストから削除するオーディオデータを選ぶ。**

4 **「ファイル」メニューの「削除」をクリックする。**

プレイリストまたはオーディオデータを選択した状態で右クリックし「**削除**」を選んでも操作できます。

例：
プレイリストから削除するオーディオデータ

プレイリストの登録が削除されます。
（オーディオデータは削除されません）

■ プレイリスト名の変更：

1 **パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。**

プレイリストを変更するときはパソコンとプレーヤーを接続してください。

「パソコンとプレーヤーを接続する」 →5

「「Kenwood Media Application」を起動する」 →13

2 **「PC」タブまたは「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、プレイリスト名を変更するプレイリストを選ぶ。**

3 **「ファイル」メニューの「名前の変更」をクリックする。**

プレイリストを選択した状態で右クリックし「**名前の変更**」を選んでも操作できます。
プレイリスト名を変更します。プレイリスト名は、最大 31 文字まで入力できます。

POINT：

プレイリスト名の変更をするときに、すでに同じ名称のプレイリストがある場合は名称を変更することはできません。画面に「**プレイリストの名前を変更できません。指定されたプレイリスト名はすでに存在しています。プレイリストの結合を行いますか？**」と表示されたときに「**はい**」を選ぶと、これらのプレイリストに登録したオーディオデータがすでにある同じ名称のプレイリストに統合されます。

プレイリストをプレーヤーに転送する

パソコンのプレイリストをプレーヤーに転送します。

✍ プレーヤー取扱説明書　「プレイリストを再生する」 →22

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍ 「パソコンとプレーヤーを接続する」 →5
✍ 「「Kenwood Media Application」を起動する」 →13

2 「PC」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、転送するプレイリストを選び、右クリックする。

3 表示されたクイックメニューの「プレイリストの転送」をクリックする。

プレイリストの内容やプレイリストに追加したオーディオデータをプレーヤーに転送します。

POINT：

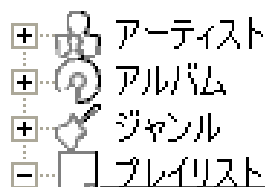
プレイリスト内に、このプレーヤーに対応していないオーディオデータが含まれている場合には、転送処理が中止されます。（MP3、WMA または WAV ファイル以外の形式である場合やサンプリング周波数とビットレートの組み合わせがプレーヤーが再生できる範囲外の場合やオーディオデータが壊れている場合など。）

プレーヤーの「お気に入り」をプレイリストに変換する

プレーヤーで登録した「お気に入り」の内容を、プレーヤーのプレイリストに変換します。（プレーヤーで「お気に入り」の登録をしていない場合は操作できません。）

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍ 「パソコンとプレーヤーを接続する」 →5
✍ 「「Kenwood Media Application」を起動する」 →13
✍ プレーヤー取扱説明書　「「お気に入り」に登録する」 →30

2 「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、「ファイル」メニューの「お気に入りをプレイリストに変換」をクリックする。

「お気に入り」に登録した再生順でプレイリストに追加します。

POINT：

- プレーヤーのプレイリストはパソコンに転送することはできません。
- プレイリストに変換するとプレーヤーの「お気に入り」は解除されます。

曲情報を編集する

それぞれの曲情報（タイトル、アーティスト、アルバム）を変更できます。

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

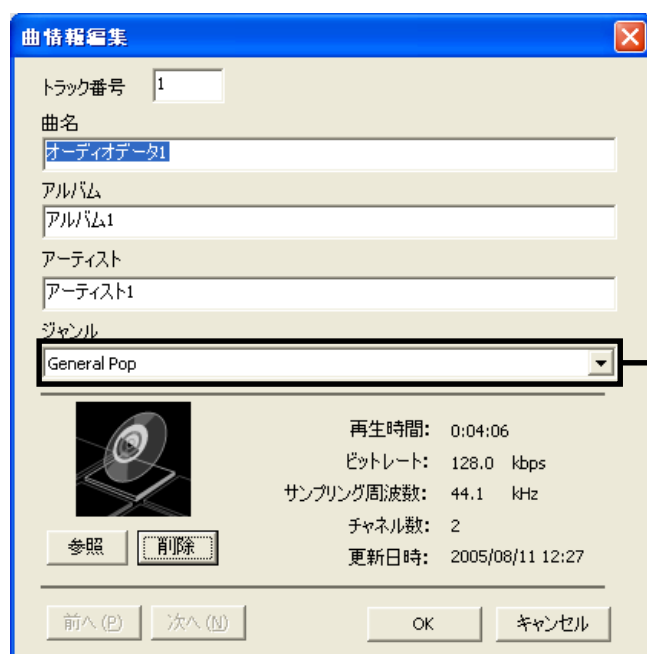
プレーヤーのオーディオデータの曲情報を編集するときはパソコンとプレーヤーを接続してください

✍「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5
✍「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13

2 「PC」タブまたは「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、曲情報を編集するオーディオデータがあるライブラリを選ぶ。

3 ファイルリストから編集するオーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする。

オーディオデータを選択した状態で右クリックし「**曲情報編集**」を選んでも操作できます。

「**曲情報編集**」ダイアログを表示します。

この部分でクリックすると、あらかじめ登録されているジャンルを表示します。
お好みに合わせてジャンルをお選びください。

曲情報が変更され、ライブラリが自動的に更新されます。フォルダ内にオーディオデータが1つしかないときは、「**前へ**」や「**次へ**」は表示されません。

4 曲情報を編集し、「OK」をクリックする。

編集できる曲情報：

「**トラック番号**」	トラック番号
「**曲名**」	曲のタイトル
「**アルバム**」	アルバム名
「**アーティスト**」	アーティスト名
「**ジャンル**」	ジャンルをプルダウンメニューから選びます。
ジャケット画像	✍「ジャケット画像の設定」 → 25 ✍「ジャケット画像の一括設定」 → 26

曲情報を編集する

ジャケット画像の設定

お好みの静止画像データをプレーヤーに転送し、ジャケット画像として再生画面などで表示することができます。

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍「パソコンとプレーヤーを接続する」→5
✍「「Kenwood Media Application」を起動する」→13

2 「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、曲情報を編集するオーディオデータがあるライブラリを選ぶ。

「PC」タブを選んだときは、操作できません。

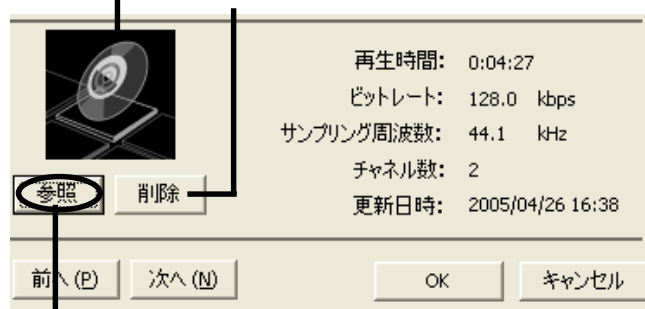
3 ファイルリストから編集するオーディオデータを選び、「ツール」メニューの「曲情報編集」をクリックする。

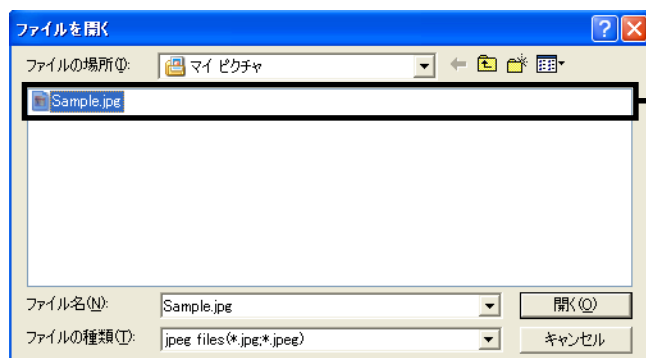
オーディオデータを選択した状態で右クリックし「**曲情報編集**」を選んでも操作できます。

4 「曲情報編集」ダイアログの「参照」をクリックし、ジャケット画像選択ダイアログを開く。

静止画像データを選ぶとジャケット画像として表示します。

ジャケット画像の表示を消します。

再生時間: 0:04:27
ビットレート: 128.0 kbps
サンプリング周波数: 44.1 kHz
チャネル数: 2
更新日時: 2005/04/26 16:38
参照 削除
前へ(P) 次へ(N) OK キャンセル

ジャケット画像選択ダイアログを表示し、ジャケット画像に使う静止画像データを設定できます。

5 ジャケット画像選択ダイアログで静止画像データを選び、「開く」をクリックする。

ジャケット画像に割り付ける静止画像データを表示します。

6 曲情報を編集し、「OK」をクリックする。

ジャケット画像の一括設定

ジャケット画像をアルバム単位で設定することができます。

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍ 「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5
✍ 「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13

2 「PD」タブをクリックする。ツリーリストをライブラリビューに切り換え、ジャケット画像の一括設定を行うアルバムを選択する。

「PC」タブ選んだときは、操作できません。

3 「ツール」メニューの「ジャケット写真一括設定」をクリックする。

アルバムを選択した状態で右クリックし「ジャケット写真一括設定」を選んでも操作できます。

4 「ジャケット写真一括設定」ダイアログの「参照」をクリックし、ジャケット画像選択ダイアログを開く。

5 ジャケット画像選択ダイアログで静止画像データを選び、「開く」をクリックする。

ジャケット画像に割り付ける静止画像データを表示します。

6 曲情報を編集し、「OK」をクリックする。

ライブラリを更新する

パソコン内またはプレーヤーのハードディスク内のライブラリを更新することができます。

ライブラリの自動更新

プレーヤー内のライブラリは、パソコンからプレーヤーにオーディオデータを転送したときに自動的に更新されます。（KXD ファイルの曲情報編集をしたときも、ライブラリは更新されます。）

パソコン内のライブラリは、同期フォルダ内にあるオーディオデータだけが対象になります。また、プレーヤーのライブラリに登録できるオーディオデータは、「Kenwood Media Application」で転送したものだけです。

✍「同期フォルダを設定する」 → 28

POINT：

エクスプローラなどでファイルの削除や名前の変更をした場合、ライブラリの自動更新はしません。このときは、手動でライブラリを更新してください。

ライブラリの手動更新

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

✍「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5
✍「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13

2 「PC」または「PD」タブをクリックする。

パソコン内またはプレーヤーの内蔵ハードディスクのライブラリを表示します。

3 「ツール」メニューの「ライブラリ更新」をクリックする。

手順２で選んだライブラリを更新します。

POINT：

エラーなどで中止された場合は、エラーの原因を取り除いたうえで、もう一度更新をしてください。

同期フォルダを設定／転送をする

パソコンに同期フォルダを設定しておくと、同期フォルダをフォルダごとプレーヤーに転送できます。

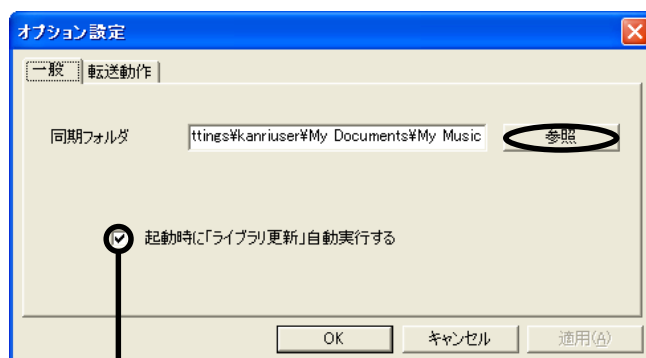
同期フォルダを設定する

1 「Kenwood Media Application」を起動する。

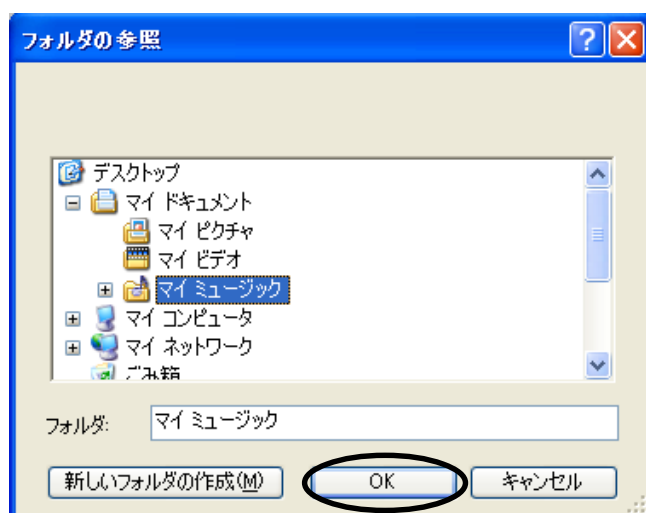
「「Kenwood Media Application」を起動する」 →13

2 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログを表示します。

3 「一般」タブの「同期フォルダ」横の「参照」をクリックする。

「**フォルダの参照**」画面を表示します。

チェックマークが付いているときは、「**Kenwood Media Application**」を起動すると自動的にライブラリが更新されます。（オーディオデータが大量にある場合などは、更新処理に時間がかかる場合があります。）

4 設定したいフォルダを選び、「OK」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログに戻ります。

5 「OK」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログが閉じ同期フォルダを設定します。

「同期フォルダを転送する」 →29

同期フォルダを転送する

1 パソコンとプレーヤーを接続し、「Kenwood Media Application」を起動する。

「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5
「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13
「同期フォルダを設定する」 → 28

2 転送パネルの同期ボタンをクリックする。

「**ツール**」メニューの「**同期**」をクリックしても操作できます。

同期フォルダに設定したパソコンのフォルダとプレーヤーの同期フォルダとの差分を比較してオーディオデータを転送します。

同期ボタン　転送処理の進捗を表示します

POINT：

- すでにプレーヤーに転送したファイルでも、転送元のファイルの日付が新しい場合は上書き転送します。
- パソコンの同期フォルダ内のファイルを削除しても、プレーヤーの同期フォルダ内のファイルは削除されません。
- 転送する対象は、同期フォルダ以下にあるオーディオデータとなります。

オーディオデータ転送の設定

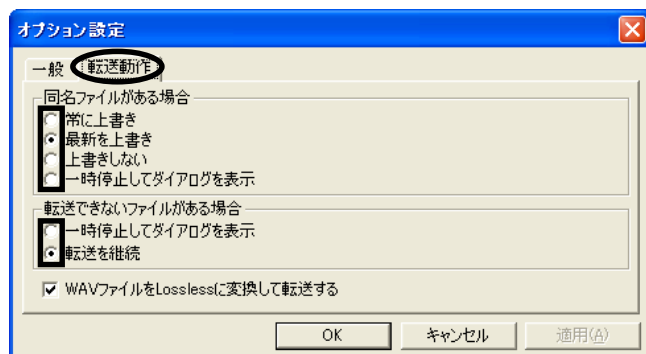
パソコンからプレーヤーにオーディオデータを転送するときの転送動作を設定します。

1 「Kenwood Media Application」を起動する。

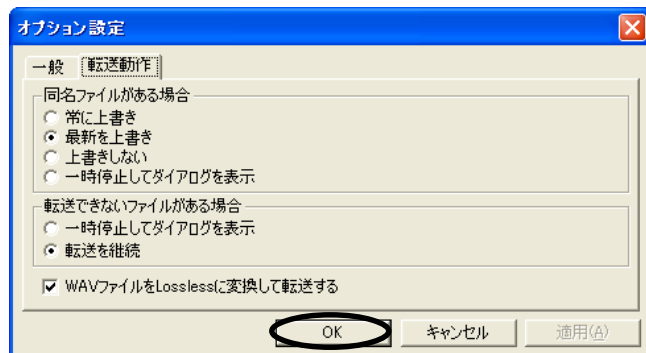
✍ 「「Kenwood Media Application」を起動する」 → 13

2 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログを表示します。

3 「転送動作」タブをクリックし、転送動作を選びます。

ラジオボタンを押して、「**同名ファイルがある場合**」と「**転送できないファイルがある場合**」の動作を選びます。

4 「OK」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログが閉じ転送動作を設定します。

POINT：

「**転送できないファイルがある場合**」の設定内容に関係なく、転送エラーが発生した場合は転送できなかったファイルが転送終了後に一覧表示されます。

オーディオデータ転送の設定

WAV ファイルを KLS（Kenwood Lossless）形式に変換して転送する *

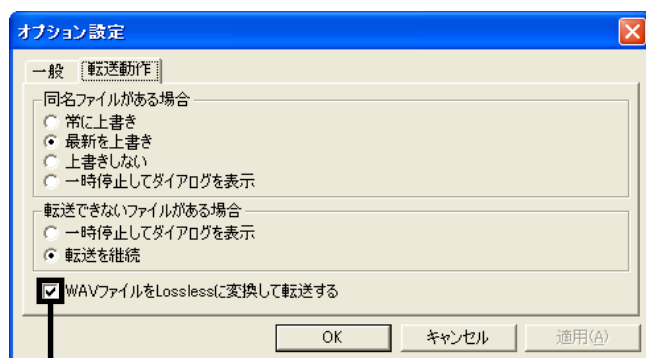
パソコン内の WAV ファイルは、KLS（Kenwood Lossless）形式に変換し転送することができます。
KLS（Kenwood Lossless）形式は WAV ファイルと同じ音質のまま、ファイルサイズを小さくできるため、より多くのオーディオデータを収録することができます。

1 「Kenwood Media Application」を起動する。

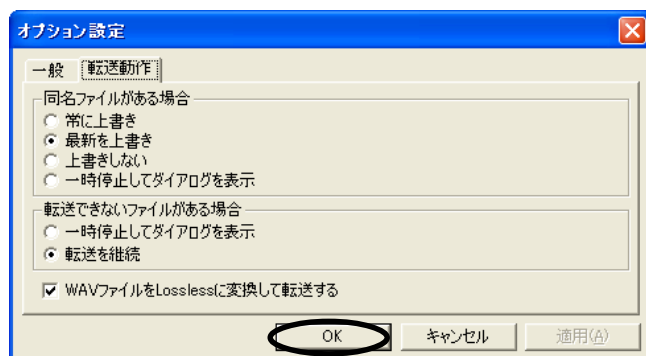
「「Kenwood Media Application」を起動する」 →13

2 「ツール」メニューの「オプション」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログを表示します。

3 「転送動作」タブをクリックし、「WAVファイルをLosslessに変換して転送する」にチェックマークを付ける。

チェックマークが付いているときは、WAV ファイルを KLS（Kenwood Lossless）形式に変換して転送します。（転送処理に時間がかかる場合があります。）

4 「OK」をクリックする。

「**オプション設定**」ダイアログが閉じ転送動作を設定します。

POINT：

- ＊KLS（Kenwood Lossless）形式のオーディオデータを再生できるプレーヤーは以下のモデルです。（2005年11月現在）
  HD30GA9
- 「**WAV ファイルを Lossless に変換して転送する**」にチェックマークを付けて転送したときのファイル名の形式は、「**<ファイル名>.KLS.KXD**」になります。
- 「**WAV ファイルを Lossless に変換して転送する**」の設定内容に関係なく、モノラル音声の WAV ファイルは、KLS（Kenwood Lossless）形式に変換せずWAVファイルのまま転送します。（転送後のファイル名の形式は、「**WAV.KXD**」のままになります。）

「Windows Media Player」を使用するとき

「Windows Media Player」を使ってオーディオデータを転送することができます。
Windows Media デジタル著作権管理（DRM）をサポートしており、ライセンス付き WMA ファイルにも対応します。
アプリケーションソフトウェア「Kenwood Media Application」をインストールしたときに、「Windows Media Player9 または 10 がインストールされていません。インストールを続行しますか？（Windows Media Player からファイルを PD へ転送する場合は、Windows Media Player9 または 10 をインストールしてください。）」というメッセージが表示され、「Windows Media Player 用プラグイン」がインストールできなかった場合は、「Windows Media Player」をインストールしてください。

オーディオデータを転送する

■準備しましょう

転送するオーディオデータはあらかじめパソコンに準備しておいてください。

1 パソコンとプレーヤーを USB 接続し、「Windows Media Player 9」または「Windows Media Player 10」を起動する。

✍「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5

2 ライブラリ表示のタイトル名を右クリックして表示されたクイックメニューの「追加」➡「同期リスト」を選ぶ。

「Windows Media Player 9」のときは、「デバイス転送」をクリックします。

3 転送したいオーディオデータを選ぶ。

4 転送先のデバイスとして、プレーヤーを選び、オーディオデータを転送するフォルダを指定する。

5 「同期の開始」をクリックする。

「Windows Media Player 9」のときは、「転送」をクリックします。
詳しくは、「Windows Media Player」のヘルプをご覧ください。

POINT：

- 暗号化されたオーディオデータのファイル名称には、拡張子「.KXD」が付加されます。
- 転送するオーディオデータは、プレーヤーに指定したフォルダにすべて保存されます。ただし、転送の際に指定したフォルダ内に新しいフォルダは作成されません。
- 転送したオーディオデータのタグ情報にタイトル名がある場合は、そのタイトルがオーディオデータ名として保存されます。タグにタイトル情報が無い場合は、転送したファイル名のまま保存されます。
- 転送するファイル名と同じ名称のファイルを転送した場合は、上書きされます。

用語解説

MP3

ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEG が制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10 から1/12 の圧縮率が得られます。

WAV

Windows の標準的な非圧縮音声形式です。

WMA（Windows Media Audio）

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

タグ情報

タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどオーディオファイルに書き込まれている情報です。

DRM（Digital Rights Management）

音声や映像データの複製を制限し、デジタルデータの著作権を保護します。

KLS（Kenwood Lossless）

ケンウッド独自の可逆圧縮方式です。データの欠落が全く起こらないため、使用時には圧縮前のデータに完全復元できます。MP3 等の非可逆圧縮方式に比べて圧縮率は低くなります。

Supreme（サプリーム）

オーディオデータの圧縮によって失われた高音域の周波数を推測し補間することで、リアルなサウンドを蘇らせるケンウッド独自の音質向上技術です。

メッセージ表示の一覧

表示	意味
指定されたオーディオデータ"○○"は転送できません。(このオーディオデータはコピー禁止です。)	コピー禁止情報が付いたオーディオデータを転送しようとしました。 著作権保護されたオーディオデータは、「**Windows Media Player**」で転送してください。
指定されたオーディオデータ"○○"は、転送できません。(サンプリング周波数、ビットレートが対象外です)	このプレーヤーでは対応していないサンプリング周波数、ビットレートのオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ"○○"は、転送できません。(コンテンツ保護されたデータには対応していません。)	コンテンツ保護されているWMA形式のオーディオデータを転送しようとしました。
指定されたオーディオデータ"フォルダパス+ファイル名"は転送できません。(対応していない形式です。)	対応していない形式のMP3、WMA、WAVファイルを転送しようとしました。
○○のコピーまたは移動が行えませんでした。 PDへのコピー又は移動中にエラーが発生しました。	転送中にUSB接続が外れた、あるいはプレーヤーの電源がオフになりました。
ライブラリの更新に失敗しました。一部のデータが正しく更新されていない可能性があります。ライブラリの更新を行ってください。	パソコン上のオーディオデータを他のソフトウェアで参照または再生中に、そのオーディオデータの「曲情報編集」を行おうとしました。他のソフトウェアを終了してから、再び「曲情報編集」を行ってください。
プレイリストの登録数が最大数を超えています。	プレイリストの最大登録数を超えて作成しようとしました。(最大999個)
プレイリストへの登録数が最大数を超えています。	一つのプレイリストに登録できる最大ファイル数を超えて登録しようとしました。(最大999ファイル)

故障かな…？と思ったら

症状	対策
パソコンにプレーヤーを接続しても、PD タブを選択できない	メニューバーの「**表示**」メニューから「**最新の状態に更新**」を選ぶ。
プレーヤーを起動しても「NO SYSTEM FOUND ON HDD」と表示されて起動しない	プレーヤーの内蔵ハードディスクのファームウェアが削除されていたり壊れているため、プレーヤーが起動できません。「**お買い上げ時の状態に戻す**」にしたがってファームウェアを修復してください。
プレーヤーのハードディスクをフォーマットしてしまった。なにか設定は必要なのか？	プレーヤーの内蔵ハードディスクのファームウェアを修復する必要があります。 「**お買い上げ時の状態に戻す**」にしたがってファームウェアを修復してください。

お買い上げ時の状態に戻す：

「Kenwood Media Application」をインストールすると、パソコンに「BACKUP（バックアップ）」フォルダが自動的に作成されます。このフォルダ内の内容全てをコピーすることにより、プレーヤーをお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 パソコンとプレーヤーを接続する。

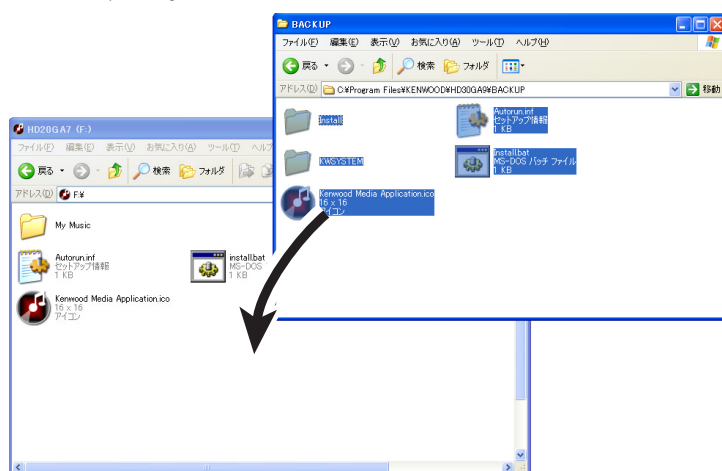
✍「パソコンとプレーヤーを接続する」 → 5

2 パソコンのエクスプローラを起動する。

3 「BACKUP（バックアップ）」フォルダを開く。

エクスプローラから「マイ コンピュータ」➡「ローカルディスク」➡「Program Files（プログラム ファイルズ）」➡「KENWOOD」➡「モデル名のついたフォルダ*」を開き「BACKUP（バックアップ）」をダブルクリックすると、ファームウェアがインストールされている「BACKUP（バックアップ）」フォルダが開きます。

＊例：プレーヤーが HD30GA9 の場合、フォルダ名は「HD30GA9」になります。

4 手順 3 で開いた「BACKUP（バックアップ）」フォルダの内容全てをプレーヤーのルートディレクトリにコピーする。

5 プレーヤーをパソコンから取り外す。

✍「パソコンからプレーヤーを取り外す」 → 12

よくある質問

Q 「Kenwood Media Application」でプレーヤーを認識しない。

A USBハブを使用してパソコンと接続している場合は認識できないことがあります。

USBハブを使用してのパソコンとの接続はおやめください。

Q 「Windows Media Player」でプレーヤーを認識しない。

A 「Kenwood Media Application」をインストールする前に「Windows Media Player」がインストールされていないと必要なプラグインがインストールされません。

「WindowsMedia Player 9」または「WindowsMedia Player 10」をインストールした後に再度、「Kenwood Media Application」をインストールしてください。

Q 「パソコンからプレーヤーを取り外す」（→12）の手順にしたがって操作をしたが、プレーヤーの取り外しに失敗した。

A 「Kenwood Media Application」やエクスプローラでプレーヤーのドライブやファイルを開いているときは、取り外しができないときがあります。

アプリケーションを終了してから、もう一度取り外しをしてください。

Q 「Windows Media Player」で、CDからリッピングしたオーディオデータを本機に転送できない。

A 「Windows Media Player」で著作権保護がなされている音楽CDのトラックは、「Kenwood Media Application」では転送することができません。

✍「「Windows Media Player」でオーディオデータを取り込む場合のお願い」→11

Q オーディオデータをプレーヤーに転送できない。

A このプレーヤーで再生できないオーディオデータは転送できません。転送をする前に、再生可能なオーディオデータかご確認ください。

プレーヤーで再生できるオーディオデータの、サンプリング周波数とビットレートの組み合わせは、下記のとおりになります。これ以外の組み合わせのオーディオデータについては、正常に再生できない場合があります。

MP3

サンプリング周波数	22.05/44.1/48kHz
ビットレート	32kbps～320kbps

WMA（Windows Media Audio）

サンプリング周波数	44.1kHz
ビットレート	48kbps～192kbps

WAV（PCM）

サンプリング周波数	22.05/44.1kHz
ビット数	16ビット

KLS（Kenwood Lossless）

サンプリング周波数	22.05/44.1kHz
ビット数	16ビット

POINT：
VBR(Variable Bit Rate：可変ビットレート）のオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

KENWOOD

製品に関する一般的なご質問を弊社Webページにて公開しております。お問い合わせの前にぜひ一度ご覧ください。

URL: http://www.kenwood.co.jp/j/download/mulia/index.html

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

コンピュータとの接続および添付アプリケーションについてのお問い合わせ、修理のご相談は、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
電話（0570）010-114（ナビダイヤル）　携帯・PHSでのご利用は（045）933-5133
FAX（045）933-5553
住所　〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口にご相談ください。（ケンウッドサービス窓口のお問い合わせ先は、クイックスタートマニュアルをご覧ください。）